

# EOS *Kiss* M

## カメラガイド

日本語

無線機能とアクセサリーの使いかた

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、修理受付窓口へご相談ください。
- モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。

## このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部は、絵文字で示しています。



- 画面に表示される絵文字や文言は、[ ] つきで示しています。
- : 知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- : 上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- xx : 参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- レンズやマウントアダプターは、レンズキットに入っているか別売かにかかわらず、「レンズ」「マウントアダプター」と記載しています。
- 本文中のイラストは、EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM レンズを付けた状態で説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 目次

お使いになる前にお読みください.....	2
このガイドの記載について .....	2

## 第 1 部 無線機能とアクセサリーの使いかた

無線機能 .....	7
無線機能でできること .....	7
無線機能の準備をする .....	8
カメラの事前準備 .....	8
スマートフォンの事前準備 .....	9
Bluetooth 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する.....	9
カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続する.....	9
カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る.....	11
カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る.....	11
撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する.....	11
【Bluetooth 機能】の画面について .....	12
撮影する画像に位置情報を付加する.....	13
位置情報の確認方法.....	13
ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 と ペアリングする.....	14
スマートフォンでカメラを操作する.....	14
NFC 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する.....	15
Wi-Fi 接続してアプリを使う .....	15
カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を 送る -1.....	16
カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を 送る -2.....	16
カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る.....	17
撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する.....	17

Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する.....	18
カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る.....	19
カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る.....	19
撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する.....	19
パソコンに Wi-Fi 接続して EOS Utility を使う .....	21
Wi-Fi 接続する.....	21
EOS Utility でカメラを操作する .....	22
パソコンに画像を自動送信する.....	23
Wi-Fi 接続する.....	23
カメラ内の画像をパソコンに自動送信する .....	24
プリンターに Wi-Fi 接続して印刷する .....	25
Wi-Fi 接続する.....	25
Web サービスへ画像を送る .....	26
利用する Web サービスの情報を登録する .....	26
Web サービスに画像を送る .....	28
2 回目以降の Wi-Fi 接続 .....	29
Bluetooth 接続中のスマートフォンとの Wi-Fi 接続.....	30
ニックネームを変更する .....	31
接続設定を変更／削除する .....	32
無線通信の設定を初期化する .....	32
初期化する .....	32
Bluetooth でペアリングしている機器の登録を 解除する .....	33
<b>アクセサリー.....</b>	<b>34</b>
システムマップ.....	35
別売アクセサリー.....	36
レンズ.....	36
電源.....	36
ストロボ.....	37
マイク .....	37

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



その他のアクセサリー	37
プリンター	38
別売アクセサリーの使いかた	38
テレビで見る	38
HDR 対応テレビで RAW 画像を見る	39
家庭用電源でカメラを使う	39
アクセサリースューを使う	40
外付けストロボ（別売）を使う	40
ソフトウェアを使う	42
ソフトウェアについて	42
パソコンの環境を確認する	42
インストールする	42
画像をパソコンに取り込む	43
印刷する	44
かんたん印刷	44
印刷設定をする	45
印刷指定（DPOF）	45
フォトブック指定	46

## 第 2 部 注意やヒント

本体に関する注意やヒント	47
日ごろの取り扱いについて	47
準備する	48
バッテリーを充電する	48
バッテリーとカードを入れる／取り出す	48
日付／時刻／エリアを設定する	48
レンズを使う	49
EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける	49
カメラを構える	49
電源の入れかた／切りかた	49
シャッターボタンの押しかた	50

ファインダーの使いかた	50
モニターの向きや角度の換えかた	50
撮影画面に表示される枠	50
クイック設定画面の表示と操作方法	50
MENU（メニュー）の表示と操作方法	50
文字の入力方法	51
ランプの表示	51

## 撮影に関する注意やヒント

カメラまかせて撮る	52
プラスムービーオートモードで撮る	52
静止画	53
動画	53
シーンのアイコン	53
好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）	54
いろいろなシーンで撮る	54
自分撮り	54
美肌	54
スポーツ	55
クローズアップ	55
料理	55
流し撮り	55
手持ち夜景	55
HDR 逆光補正	55
サイレントモード	55
効果をつけて撮る	56
ソフトフォーカス	56
魚眼風	56
トイカメラ風	56
ジオラマ風	56
HDR 絵画調標準／HDR グラフィック調／HDR 油彩調／	
HDR ビンテージ調	56

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

カメラを設定して撮る.....	56
撮影機能を一覧にして設定する.....	56
明るさ（露出）に関する機能を使う.....	56
色に関する機能を使う.....	57
ピント合わせに関する機能を使う.....	60
ストロボに関する機能を使う.....	61
撮影スタイルにあわせて機能を変える.....	62
シャッタースピードや絞りを決めて撮る.....	65
カメラをカスタマイズする.....	66
動画を撮る.....	67
動画用のモードで動画を撮る.....	67
タイムラプス動画を撮る（タイムラプス動画）.....	67
ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）.....	68
録音レベル（録音音量）を設定する.....	68
便利な機能.....	68
セルフタイマーを使う.....	68
画面をタッチして撮る（タッチシャッター）.....	68
連続して撮る.....	68
記録画質を変える.....	69
RAW 画像を記録する.....	69
縦横比（アスペクト比）を変える.....	69
動画の画質を変える.....	69
<b>再生に関する注意やヒント.....</b>	<b>70</b>
見る.....	70
静止画／動画を見る.....	70
タッチ操作で見る.....	71
スライドショーで見る.....	71
短編動画（ダイジェスト動画）を見る.....	71
画像を探す.....	71
一覧表示（インデックス表示）で画像を探す.....	71
指定した条件で画像を探す.....	71
電子ダイヤルで画像を探す.....	72

保護する（プロテクト）.....	72
1 枚ずつ保護する（プロテクト）.....	72
まとめて保護する（プロテクト）.....	72
お気に入り設定をする（レーティング）.....	72
消す.....	72
1 枚ずつ指定してまとめて消す.....	72
静止画を編集する.....	72
画像を回転する.....	72
画像を小さくする（リサイズ）.....	73
画像を切り抜く（トリミング）.....	73
画像にフィルター効果をつける.....	73
赤目を補正する.....	73
好みの効果を付ける（クリエイティブアシスト）.....	73
RAW 画像をカメラで現像する.....	73
1 枚ずつ指定して現像する.....	73
動画を編集する.....	74
動画の前後を削除する.....	74
4K 動画のフレームを静止画として切り出す.....	74
ファイルサイズを小さくする.....	74
ダイジェスト動画を編集する.....	74
<b>設定に関する注意やヒント.....</b>	<b>75</b>
カメラの基本機能を変える.....	75
撮影直後の画像表示時間を変える.....	75
フォルダを作る／選ぶ.....	75
画像番号のつけかたを変える.....	75
カードを初期化する.....	76
エコモードを使う.....	76
節電機能の設定を変える.....	76
撮影時の情報の表示内容を設定する.....	76
再生時の情報の表示内容を設定する.....	76
タッチパネルの設定を変える.....	76



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

撮像素子をクリーニングする .....	77
画像に記録する著作権の情報を登録する .....	77
カメラの設定を初期状態に戻す .....	77

<b>故障かな?と思ったら .....</b>	<b>78</b>
-------------------------	-----------

<b>メッセージ一覧 .....</b>	<b>80</b>
----------------------	-----------

### 第3部 お役立ち情報

画面の表示内容一覧 .....	82
撮影時 .....	82
再生時 .....	83
主な仕様 .....	85
索引 .....	93





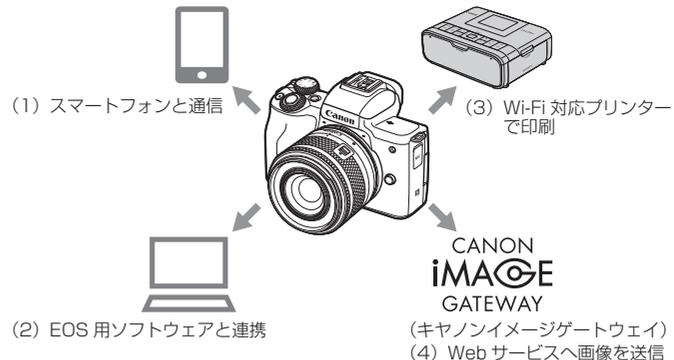
## 第 1 部

# 無線機能とアクセサリーの 使いかた

## 無線機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用できます。

### 無線機能でできること



#### (1) スマートフォンと通信 (P14)

スマートフォンやタブレットに Wi-Fi 接続して、専用アプリケーション Camera Connect (カメラコネクト) を使ってカメラをリモート操作したり、カメラ内の画像を見ることができます。

また、Bluetooth<sup>®</sup>\* で接続したときは、位置情報の付加などを行うことができます。

なお、本ガイドでは、スマートフォンとタブレットをあわせて「スマートフォン」と記載しています。

\*Bluetooth low energy technology (以降は「Bluetooth」と記載)

#### (2) EOS 用ソフトウェアと連携 (P21、P23)

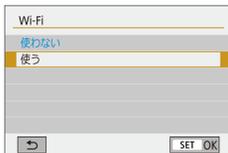
パソコンに Wi-Fi 接続して、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使ってカメラをリモート操作することができます。また、Image Transfer Utility 2 を使って、カメラの画像をパソコンに自動転送することができます。

- (3)  Wi-Fi 対応プリンターで印刷 (📖25)  
Wi-Fi で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターに Wi-Fi 接続して、画像を印刷することができます。

- (4)  Web サービスへ画像を送信 (📖26)  
キャノンユーザーのためのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY (登録無料) を通じて、家族や友人との画像共有や、さまざまな Web サービスを利用した画像共有を行うことができます。

## 無線機能の準備をする

### カメラの事前準備



#### 1 カメラが起動した状態で $\langle \text{Wi-Fi} \rangle$ ボタンを押す

- $\langle \text{Wi-Fi} \rangle$ ボタンを押して無線の設定画面が表示されないときは、もう一度 $\langle \text{Wi-Fi} \rangle$ ボタンを押します。

#### 2 Wi-Fi を【使う】に設定する

- 【使う】を選び、 $\langle \text{SET} \rangle$ ボタンを押します。
- ニックネーム画面が表示されます。

#### 3 【ニックネーム】を確認する

- $\langle \text{OK} \rangle$ ボタンを押してニックネーム（カメラ名）を確認します。



## 4 機能設定メニューに戻る

- 確認後、MENU ボタン → [OK] → MENU ボタンで機能設定メニューに戻ります。
- ニックネームは 8 文字以内で、あとから変更できます。



- Wi-Fi と Bluetooth の電波を出したくないときは、以下のよう  
にしてください。
  - Wi-Fi : MENU ボタン → [📶] → [📶 1] → [無線通信の設定]  
→ [Wi-Fi 設定] → [Wi-Fi] → [使わない] に設定します。
  - Bluetooth : MENU ボタン → [📶] → [📶 1] → [無線通信  
の設定] → [Bluetooth 機能] → [Bluetooth 機能] → [使  
わない] に設定します。

## スマートフォンの事前準備

- カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション Camera Connect(無料)をインストールする必要があります。
- アプリケーションの詳細(対応するスマートフォンや機能など)については、弊社 Web サイトで確認してください。
- Camera Connect は、Google Play または App Store からインストールすることができます。Google Play または App Store は、スマートフォンの登録時にカメラの画面に表示される QR コードからもアクセスできます。

## Bluetooth 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する

### カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続する

#### ■ カメラ側の操作 -1



#### 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(📶8) を参照してください(準備済みのときは次の手順へ進みます)。

#### 2 [無線通信の設定] を選ぶ

- MENU ボタン → [📶] → [📶 1] → [無線通信の設定] の順に選びます。

#### 3 [スマートフォン] を選ぶ

- [Bluetooth 機能] → もう一度 [Bluetooth 機能] → [スマートフォン] → 📶 ボタンの順に選びます。

#### 4 ペ어링する

- [ペアリング] → [表示しない] の順に選びます。
- ペアリング中の画面が表示されます。
- 次の手順のスマートフォン操作で、カメラとスマートフォンをペアリングします。





## ■ スマートフォン側の操作 -1



### 5 スマートフォンの Bluetooth 機能を ON にする



### 6 Camera Connect を起動する



### 7 ペ어링するカメラを選ぶ

- ペ어링するカメラのニックネームをタッチします。
- Android の場合は手順 9 に進みます。



### 8 [ペアリング] をタッチする (iOS のみ)

## ■ カメラ側の操作 -2

### 9 カメラを操作してペアリングを完了する

- 接続確認画面で [OK] を選びます。
- 接続完了画面で [OK] ボタンを押します。
- ペ어링が完了して、スマートフォンと Bluetooth 接続されます。
- 次の手順に進んで Wi-Fi 接続を完了してください。

## ■ スマートフォン側の操作 -2

### • Android のとき



### 1 Camera Connect の機能を選ぶ

- [Bluetooth リモートコントローラー] 以外の機能を選びます。
- しばらくすると Wi-Fi 接続が完了して、スマートフォンに選んだ機能の画面が表示されます。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。

### • iOS のとき



### 1 Camera Connect の機能を選ぶ

- [Bluetooth リモートコントローラー] 以外の機能を選びます。



### 2 スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続する

- スマートフォンに表示されている案内にしたがって、パスワードをコピーする枠にタッチします。
- 表示される Wi-Fi 機能の画面から、接続するカメラの SSID を選びます。
- パスワード欄をタッチして、パスワードをペーストして接続します。
- Camera Connect 画面を表示します。
- しばらくすると Wi-Fi 接続が完了して、スマートフォンに選んだ機能の画面が表示されます。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。



### 3 Camera Connect を使う

- Camera Connect を操作して、カメラ内の画像を閲覧／保存したり、リモート撮影などを行います。

#### カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る

あらかじめ、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます (Q9)。

#### 1 メニューを操作する

- MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [スマートフォンへ画像を送信] の順に選びます。
- 画像が表示されます。

#### 2 Camera Connect のトップ画面を表示する

#### 3 画像を選ぶ

- 画像を選んで📷ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

#### カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る

あらかじめ、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます (Q9)。

#### 1 画像を再生する

#### 2 📷ボタンを押す



### 3 📷 を選ぶ

#### 4 画像を選ぶ

- 画像を選んで📷ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

#### 撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する

撮影した画像を自動送信することができます。あらかじめ、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます (Q9)。

#### 1 [スマートフォンへの撮影時画像送信] を選ぶ

- MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [スマートフォンへの撮影時画像送信] の順に選びます。

#### 2 自動送信の設定を行う

- [自動送信] → [する] に設定します。
- [送信画像サイズ] を設定します。

#### 3 Camera Connect のトップ画面を表示する

#### 4 撮影する

- Wi-Fi 接続中のスマートフォンに画像が送られます。



## 公開する画像の設定方法

- 以下の操作で、スマートフォンに公開する画像の設定ができます。一旦接続を切断します。(P)ボタンを押して [切断して終了] → [OK] の順に選びます。  
カメラが起動している状態で(P)ボタン → [ ] → [接続先機器の編集] → スマートフォンの名称 → [公開画像の設定] の順に選びます。  
表示される画面で公開する画像の設定を行います。
- Wi-Fi 接続できているのに Camera Connect のリモートライブビュー撮影ができないときは、上記の操作で [すべての画像] を選びます。



- ペアリングしたあとは、節電機能が働いている状態でもバッテリーを消耗するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。

## [Bluetooth 機能] の画面について

### Bluetooth 機能

- カメラとペアリングする機器を選びます。
- Bluetooth 機能を使わないときは [使わない] を選びます。

### ペアリング

- [Bluetooth 機能] で選んだ機器とのペアリングを実行します。

### 接続先情報の確認／登録解除

- ペアリングした機器の名前や通信状態を確認できます。
- 他のスマートフォンとペアリングするときは、Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除してから行います (P33)。

### Bluetooth アドレス

- カメラの Bluetooth アドレスを確認できます。

## 電源オフ中の通信

- [する] を選ぶと、スマートフォンと電源オフ中のカメラを Wi-Fi 接続して、カメラ内の画像の閲覧などができます。



- カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されていないときは、本機能の使用はできません。



## 撮影する画像に位置情報を付加する

Bluetooth に対応しているスマートフォンの GPS 機能を利用して、撮影する画像に位置情報（緯度／経度／標高など）を付加することができます。

### 1 カメラとスマートフォンを Bluetooth でペアリングする

- 「Bluetooth 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する」(P.9) の「カメラ側の操作-1」、「スマートフォン側の操作-1」、「カメラ側の操作-2」の操作を行います。
- すでに Bluetooth でペアリングされているときは、この操作は不要です。

### 2 Wi-Fi 接続を切断する

- カメラが Wi-Fi 接続されているときは、接続を切断してください。

### 3 Camera Connect を起動する

- Camera Connect が起動したスマートフォンを、手の届く範囲に配置します。

### 4 GPS 機能を利用できるようにする

- MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [GPS の設定] の順に選びます。
- [スマートフォン連携] を [する] に設定します。



## 5 撮影する

- カメラの画面に📷と[GPS]アイコンが点灯していることを確認して撮影します。アイコンが表示されないときは、INFOボタンを何回か押します。
- 撮影した画像に位置情報が付加されます。
- 次回以降、Camera Connect が起動した状態で撮影すると、撮影した画像に位置情報が付加されます。

### 位置情報の確認方法

- MENUボタン → [📷] → [📷 4] → [再生情報表示設定] の画面で、緯度／経度／標高/UTC が表示された画面を設定します。画像を再生してINFOボタンを押すと、緯度／経度／標高などが表示されます。
- UTC（日付と時刻）は、グリニッジ標準時とほぼ同じ時刻です。
- パソコン用ソフトウェアの Map Utility を使うと、地図上に位置情報が表示されます。



- 動画には撮影を始めたときの GPS 情報が記録されます。
- カメラの電源が切れた状態から NFC 機能や Bluetooth 機能を使って接続したときは、GPS 情報は記録されないことがあります。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 とペアリングする

BR-E1（別売）を使用するときは、事前に以下のペアリング操作を行います。

BR-E1 の使用説明書もお読みください。

### 1 ペアリングする

- MENUボタン → [📶] → [📶 1] → [無線通信の設定] → [Bluetooth 機能] → もう一度 [Bluetooth 機能] → [リモコン] → [ペアリング] → [🔍]ボタン

### 2 BR-E1 の W ボタンと T ボタンを同時に 3 秒以上押す

- ペアリングが行われます。

### 3 リモコン撮影できるように設定する

- 静止画撮影時は、ドライブモードを [セルフ:10 秒 / リモコン] に設定します。
- 動画撮影時は、MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [リモコン撮影] → [する] → [🔍]ボタン



- オートパワーオフを 1 分に設定していても、約 2 分でオートパワーオフになります。
- ペアリングを解除するときは、🔍33 を参照してください。

## スマートフォンでカメラを操作する

Bluetooth に対応しているスマートフォンをリモコンにして、カメラの操作を行うことができます。

### 1 カメラとスマートフォンを Bluetooth でペアリングする

- 「Bluetooth 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する」(🔍9) の「カメラ側の操作 -1」、「スマートフォン側の操作 -1」、「カメラ側の操作 -2」の操作を行います。
- すでに Bluetooth でペアリングされているときは、この操作は不要です。

### 2 Wi-Fi 接続を切断する

- カメラとスマートフォンが Wi-Fi 接続されているときは、接続を切断してください。

### 3 スマートフォンでカメラを操作する

- Camera Connect の [Bluetooth リモートコントローラー] をタッチします。
- 表示される操作画面で、撮影操作や再生操作を行います。カメラの画面を見ながら操作してください。





- 4K 動画を長時間撮影すると、カメラ内部の温度が一時的に高くなり、が表示され撮影が中断されます。そのときは、動画ボタンを押しても撮影できません。メッセージにしたがって **[4k 23.98P]** 以外の動画記録サイズに設定するか、電源を切ってカメラ内部の温度が下がってから撮影してください。
- Bluetooth 機能使用中は、カメラがオートパワーオフ状態でもカメラのバッテリーが消耗します。Bluetooth 機能を使わないときは、MENUボタン → → → [無線通信の設定] → [Bluetooth 機能] → もう一度 [Bluetooth 機能] → [使わない] に設定することをおすすめします。

## NFC 対応スマートフォンと Wi-Fi 接続する

Android で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使ってかんたんにカメラと接続することができます。



- Bluetooth 機能は使わない設定にしてください (MENUボタン → → → [無線通信の設定] → [Bluetooth 機能] → もう一度 [Bluetooth 機能] → [使わない] に設定)。
- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
  - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
  - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあります。位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
  - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[NFC 接続] を [しない] にすると NFC 接続しないようにできます。

## Wi-Fi 接続してアプリを使う

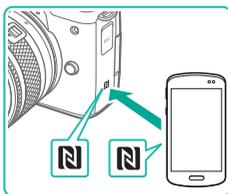
### 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(8) を参照してください (準備済みのときは次の手順へ進みます)。



## 2 カメラとスマートフォンの NFC 機能を有効にする

- カメラの NFC 機能を有効にするには、MENU ボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [NFC 接続] → [する] の順に選びます。



## 3 接続する

- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの N (N マーク) 同士をタッチします。
- 再生状態でタッチすると、カメラ内の画像を選んでスマートフォンに送ることができます。
- スマートフォンの Camera Connect が起動し、接続を開始します。

## 4 公開設定する

- 左の画面が表示されたときは、[すべての画像] を選び [📷] ボタンを押します。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。



## 5 Camera Connect を使う

- Camera Connect を操作して、カメラ内の画像を閲覧/保存したり、リモート撮影などを行います。

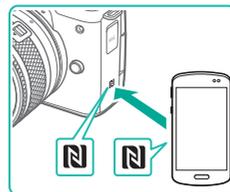
## カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る -1

カメラで画像を再生した状態でスマートフォンにタッチして、スマートフォンに画像を送ります。

### 1 画像を再生する

### 2 接続する

- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの N (N マーク) 同士をタッチします。



### 3 画像を選ぶ

- 画像を選んで [📷] ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

## カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る -2

画像を再生していない状態で、カメラとスマートフォンを NFC で Wi-Fi 接続しておきます。

### 1 画像を再生する

### 2 📷 ボタンを押す

### 3 📷 を選ぶ



## 4 画像を選ぶ

- 画像を選んで $\odot$ ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

### カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る

画像を再生していない状態で、カメラとスマートフォンを NFC で Wi-Fi 接続しておきます。

#### 1 [スマートフォンへ画像を送信] を選ぶ

- MENUボタン →  $\left[ \text{📷} \right]$  →  $\left[ \text{📷 1} \right]$  → [無線通信の設定] → [スマートフォンへ画像を送信] の順に選びます。
- 画像が表示されます。

#### 2 画像を選ぶ

- 画像を選んで $\odot$ ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

### 撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する

スマートフォンと Wi-Fi 接続中に、撮影した画像を自動送信することができます（動画を除く）。画像を再生していない状態で、カメラとスマートフォンを NFC で Wi-Fi 接続しておきます。

#### 1 [スマートフォンへの撮影時画像送信] を選ぶ

- MENUボタン →  $\left[ \text{📷} \right]$  →  $\left[ \text{📷 1} \right]$  → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [スマートフォンへの撮影時画像送信] の順に選びます。

## 2 自動送信の設定を行う

- [自動送信] → [する] に設定します。
- [送信画像サイズ] を設定します。

## 3 Camera Connect のトップ画面を表示する

## 4 撮影する

- Wi-Fi 接続中のスマートフォンに画像が送られます。

### 公開する画像の設定方法

- 以下の操作で、スマートフォンに公開する画像の設定ができます。一旦接続を切断します。 $\left[ \text{📷} \right]$ ボタンを押して [切断して終了] → [OK] の順に選びます。カメラが起動している状態で $\left[ \text{📷} \right]$ ボタン →  $\left[ \text{📷} \right]$  → [接続先機器の編集] → スマートフォンの名称 → [公開画像の設定] の順に選びます。表示される画面で公開する画像の設定を行います。
- Wi-Fi 接続できているのに Camera Connect のリモートライブビュー撮影ができないときは、上記の操作で [すべての画像] を選びます。



## Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する

## ■ カメラ側の操作 -1

## 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(B8) を参照してください(準備済みのときは次の手順へ進みます)。



## 2 カメラが起動した状態で(9)ボタンを押す

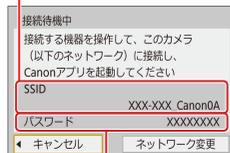
- (9) を選びます。



## 3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] → [表示しない] の順に選びます。

## SSID (ネットワーク名)



パスワード

## 4 SSID とパスワードを確認する

- SSID の末尾には「\_Canon0A」と表示されます。

## ■ スマートフォン側の操作



## 5 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選んで接続します。
- スマートフォンのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。



## 6 Camera Connect を起動する

- カメラの画面に [スマートフォンで Canon アプリを起動してください] が表示されたら、スマートフォンの Camera Connect を起動します。



## 7 接続するカメラを選ぶ

- Camera Connect の [カメラ一覧] から、Wi-Fi 接続するカメラを選んでタッチします。

## ■ カメラ側の操作 -2



## 8 Wi-Fi 接続を確立する

- [OK] を選び、(9)ボタンを押します。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引





## 9 Camera Connect を使う

- Camera Connect を操作して、カメラ内の画像を閲覧／保存したり、リモート撮影などを行います。

### カメラのメニュー操作でスマートフォンに画像を送る

あらかじめ、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます (P18)。

#### 1 メニューを操作する

- MENUボタン → [F] → [F 1] → [無線通信の設定] → [スマートフォンへ画像を送信] の順に選びます。
- 画像が表示されます。

#### 2 画像を選ぶ

- 画像を選んで [OK] ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

### カメラで画像を再生してスマートフォンに画像を送る

あらかじめ、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます (P18)。

#### 1 画像を再生する

#### 2 [OK] ボタンを押す

#### 3 [送信] を選ぶ



#### 4 画像を選ぶ

- 画像を選んで [OK] ボタンを押します。
- 表示される画面で送信条件を選び、画像を選んでスマートフォンに送信します。

### 撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する

スマートフォンと Wi-Fi 接続中に、撮影した画像を自動送信することができます (動画を除く)。画像を再生していない状態で、カメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続しておきます (P18)。

#### 1 [スマートフォンへの撮影時画像送信] を選ぶ

- MENUボタン → [F] → [F 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [スマートフォンへの撮影時画像送信] の順に選びます。



## 2 自動送信の設定を行う

- [自動送信] → [する] に設定します。
- [送信画像サイズ] を設定します。

## 3 Camera Connect のトップ画面を表示する

## 4 撮影する

- Wi-Fi 接続中のスマートフォンに画像が送られます。

### 公開する画像の設定方法

- 以下の操作で、スマートフォンに公開する画像の設定ができます。  
一旦接続を切断します。(📶)ボタンを押して [切断して終了] → [OK] の順に選びます。  
カメラが起動している状態で(📷)ボタン → [📷] → [接続先機器の編集] → スマートフォンの名称 → [公開画像の設定] の順に選びます。  
表示される画面で公開する画像の設定を行います。
- Wi-Fi 接続できているのに Camera Connect のリモートライブビュー撮影できないときは、上記の操作で [すべての画像] を選びます。

### アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法

アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

## 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(📖8) を参照してください (準備済みのときは次の手順へ進みます)。

## 2 [WPS (PBC 方式)] を選ぶ

- MENUボタン → [📶] → [📶 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 機能] → [📱] → [接続先の機器の登録] → [表示しない] → [ネットワーク変更] → [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK] → [OK] の順に選びます。

## 3 アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押す

## 4 カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶ

- カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

## 5 接続後、「Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する」(📖18) の手順 6 に進み、以降の操作を行う



## パソコンに Wi-Fi 接続して EOS Utility を使う

パソコンに Wi-Fi 接続して、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使ってカメラをリモート操作することができます。あらかじめ、パソコンに EOS Utility をインストールしてから Wi-Fi 接続の設定を行ってください。

### Wi-Fi 接続する

#### ■ カメラ側の操作 -1

#### 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(P8) を参照してください（準備済みのときは次の手順へ進みます）。



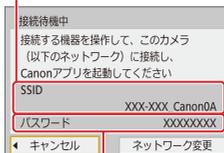
#### 2 カメラが起動した状態で〔P〕ボタンを押す

- 〔P〕を選びます。

#### 3 [接続先の機器の登録] を選ぶ



#### SSID (ネットワーク名)



パスワード

#### ■ パソコン側の操作 -1



#### ■ カメラ側の操作 -2

#### ■ パソコン側の操作 -2



### 4 SSID とパスワードを確認する

#### 5 パソコンをネットワークに接続する

- パソコンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選んで接続します。
- パソコンのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。

#### 6 ペアリングする

- パソコン側でパスワードが認証されると、カメラの画面に [ペアリングを始めます] と表示されます。
- [OK] を選んで〔OK〕ボタンを押し、EOS Utility を起動してください。

### 7 EOS Utility を起動する

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引





## 8 EOS Utility の [Wi-Fi/LAN 接続ペアリング] をクリックする

- EOS ペアリングソフトの画面が表示されます。



## 9 [接続] をクリックする

- 接続するカメラを選び、[接続] をクリックします。

### ■ カメラ側の操作 -3



## 10 Wi-Fi 接続を確立する

- [OK] を選び、 ボタンを押します。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。
- これでパソコンとの Wi-Fi 接続は完了です。

### ■ アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法

アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

## 1 [WPS (PBC 方式)] を選ぶ

- MENU ボタン →  →  1 → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 機能] →  → [接続先の機器の登録] → [ネットワーク変更] → [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK] → [OK] の順に選びます。

## 2 アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押す

## 3 カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶ

- カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

## 4 接続後、「カメラ側の操作 -2」(21) に進み、以降の操作を行う

### EOS Utility でカメラを操作する

EOS Utility の操作方法については、EOS Utility 使用説明書を参照してください。リモート撮影だけでなく、さまざまなカメラ操作が可能です。





## パソコンに画像を自動送信する

カメラ内の画像を自動的にパソコンへ送ることができます。

- カメラが Wi-Fi 接続する市販のアクセスポイント (Wi-Fi 親機) に、専用ソフトウェアの Image Transfer Utility 2 をインストールしたパソコンを接続しておきます。
- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

### Wi-Fi 接続する

#### ■ パソコン側の操作 -1

#### 1 Image Transfer Utility 2 を起動する

#### 2 Image Transfer Utility 2 のペアリングを設定する画面を開く

- はじめて Image Transfer Utility 2 を起動したときは、画面の手順にしたがって操作を行うとペアリングを設定する画面が表示されます。

#### ■ カメラ側の操作 -1

#### 3 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(P8) を参照してください (準備済みのときは次の手順へ進みます)。

#### 4 [パソコンへの画像自動送信] を選ぶ

- MENU ボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [パソコンへの画像自動送信] の順に選びます。

#### 5 パソコンと Wi-Fi 接続する

- [自動送信] → [する] を選びます。
- [OK] を選び、 ボタンを押します。
- [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK] → [OK] の順に選びます。

#### ■ アクセスポイント側の操作

#### 6 WPS 用ボタンを押す

- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS 用ボタンを押すと、カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

#### ■ カメラ側の操作 -2

#### 7 パソコンを選ぶ

- 接続できるパソコンの名前が表示されず。
- 接続するパソコンを選びます。

## ■ パソコン側の操作 -2

### 8 ペ어링するカメラを選ぶ

- Image Transfer Utility 2 のペ어링画面にカメラのニックネームが表示されます。
- 接続するカメラを選び、[ペ어링] をクリックすると、パソコンとカメラの接続が完了します。

## カメラ内の画像をパソコンに自動送信する

### 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(P8) を参照してください(準備済みのときは次の手順へ進みます)。

### 2 カメラの [送信設定] を選ぶ

- MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [パソコンへの画像自動送信] → [送信設定] の順に選びます。
- 表示される項目を選択/設定します。

### 3 パソコンに画像を自動送信する

- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) に接続したパソコンをログイン状態にします。
- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の通信範囲内でカメラの電源を入れます。
- 手順 2 で設定した送信条件でパソコンに画像を自動送信します。



- 画像の自動送信は、十分残量のあるバッテリーを使用して行ってください。自動送信中は、オートパワーオフ機能は動きません。
- 自動送信が完了した後に撮影した画像は、パソコンに自動送信されません。カメラの電源を入れなおしたときに自動送信されます。



- パソコンへの画像自動送信は、アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の通信範囲内でカメラの電源を入れたあとに始まります。画像自動送信が始まらないときは、カメラの電源を入れなおしてください。

## ■ 画像の自動送信をしないようにする

MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [パソコンへの画像自動送信] → [自動送信] → [しない] を選ぶと、画像の自動送信をしないようにすることができます。



## プリンターに Wi-Fi 接続して印刷する

### Wi-Fi 接続する

#### 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(P8) を参照してください(準備済みのときは次の手順へ進みます)。

#### 2 カメラが起動した状態で(Ⓜ)ボタンを押す

#### 3 [☰] を選ぶ



#### 4 [接続先の機器の登録] を選ぶ



#### 5 SSID とパスワードを確認する



パスワード



### アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法

アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

#### 6 プリンターを操作してカメラに Wi-Fi 接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選んで接続します。
- プリンターのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。

#### 7 Wi-Fi 接続するプリンターを選ぶ

- 使用しているプリンターを選び、(Ⓜ) ボタンを押します。
- Wi-Fi 接続が完了すると、カード内の画像が表示されます。

#### 8 画像を選んで印刷する

- 印刷する画像を選んで(Ⓜ) ボタンを押します。
- 表示される項目を選択/設定して印刷します (P44)。

#### 1 [WPS (PBC 方式)] を選ぶ

- MENU ボタン → [F1] → [無線通信の設定] → [Wi-Fi 機能] → [☰] → [接続先の機器の登録] → [ネットワーク変更] → [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK] → [OK] の順に選びます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 2 アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押す

## 3 カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶ

- カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

## 4 接続後、「Wi-Fi 接続する」(p.25) の手順 7 に進み、以降の操作を行う

## Web サービスへ画像を送る

### 利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ (Microsoft Internet Explorer など) のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国/地域の情報は、弊社 Web サイト (<http://www.canon.com/cig/>) で確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY での操作や設定については、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。



## CANON iIMAGE GATEWAY を登録する

アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

CANON iIMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録します。なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。

### 1 無線機能の準備をする

- 「無線機能の準備をする」(8) を参照してください (準備済みのときは次の手順へ進みます)。

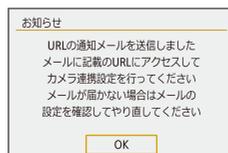
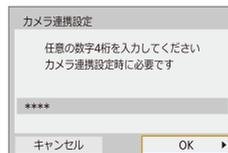
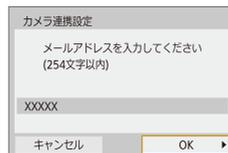
### 2 カメラが起動した状態で(Ⓟ)ボタンを押す

### 3 [☁] を選ぶ



### 4 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示されている記載を読み、[同意する] を選びます。



## 5 アクセスポイントへの接続を始める

- [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK] → [OK] の順に選びます。
- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS ボタンを押します。
- カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選ぶと、カメラとアクセスポイントの接続が行われます。

## 6 メールアドレスを入力する

- カメラが CANON iIMAGE GATEWAY に接続すると、メールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力して次へ進みます。

## 7 4桁の数字を入力する

- 任意の数字4桁を入力して次へ進みます。
- この4桁の数字は、手順9のCANON iIMAGE GATEWAYでカメラ連携の設定をするときに必要になります。

## 8 通知メールが送信されたことを確認する

- CANON iIMAGE GATEWAY に情報が送られると、手順6で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、(Ⓟ)ボタンを押します。
- [☁] が [☁] になります。





## 9 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。

## 10 カメラに CANON iMAGE GATEWAY を設定する

- 【☁】を選び、Ⓜ️ボタンを押します。
- CANON iMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。



- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否ようになっていたり、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。

## ほかの Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



## 1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iMAGE GATEWAY サイト [http://www.canon.com/cig/] へアクセスします。



## 2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

## 3 【☁】を選ぶ

- Ⓜ️ボタンを押して【☁】を選びます。

## Web サービスに画像を送る



## 1 【Wi-Fi 機能】を選ぶ

- Ⓜ️ボタンを押します。



## 2 接続先を選ぶ

- Web サービスのアイコンを選び、Ⓜ️ボタンを押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、送信先の選択画面が表示されるので、項目を選びⓂ️ボタンを押します。



### 3 画像を送る

- 送信条件を選び、画像を選んで送信します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み〔同意する〕を選んで、 ボタンを押します。
- 送信が完了したら表示される画面で〔OK〕が表示されます。 ボタンを押すと再生表示の画面に戻ります。



- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション Canon Online Photo Album を使うことをおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

## 2 回目以降の Wi-Fi 接続

一度 Wi-Fi 接続して接続設定が登録された機器や Web サービスに、再度 Wi-Fi 接続します。



### 1 カメラが起動した状態で ボタンを押す

### 2 項目を選ぶ

- 表示された履歴から Wi-Fi 接続する項目を選び、 ボタンを押します。表示されていないときは/ を押して画面を切り換えます。
- 〔接続先履歴の表示〕を〔表示しない〕に設定しているときは履歴は表示されません。

### Web サービスのとき

- 手順 3 の操作は必要ありません。

### 3 接続先の機器を操作する

#### スマートフォンのとき

- スマートフォンの Wi-Fi 機能を ON にして、Camera Connect を起動します。
- スマートフォンの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。
- カメラとスマートフォンを直接 Wi-Fi 接続するとき、SSID の末尾に「\_CanonOA」と表示されます。



## ☒ EOS Utility のとき

- パソコンで EOS Utility を起動します。
- パソコンの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。
- カメラとパソコンを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾に「\_Canon0A」と表示されます。

## ☒ プリンターのとき

- プリンターの接続先が変更されているときは、カメラ、またはカメラと同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続するように設定し直します。
- カメラとプリンターを直接 Wi-Fi 接続するときは、SSID の末尾に「\_Canon0A」と表示されます。

## Bluetooth 接続中のスマートフォンとの Wi-Fi 接続

カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続中のとき、2 回目以降のスマートフォンとの Wi-Fi 接続は以下の手順で行います。

### ■ Android のとき



#### 1 Camera Connect を起動する

- スマートフォンの Camera Connect のアイコンをタッチして起動します。



#### 2 Camera Connect の機能を選ぶ

- 使用したい Camera Connect の機能を選びます。
- 自動的に接続されます。接続が完了すると、選んだ機能の画面が表示されます。

### ■ iOS のとき



#### 1 Camera Connect を起動する



#### 2 Camera Connect の機能を選ぶ





### 3 スマートフォンを操作して Wi-Fi 接続する

- スマートフォンに表示されている案内にしたがって、パスワードをコピーする枠にタッチします。
- 表示される Wi-Fi 機能の画面から、接続するカメラの SSID を選びます。
- パスワード欄をタッチして、パスワードをペーストして接続します。
- Camera Connect 画面を表示します。
- しばらくすると Wi-Fi 接続が完了して、スマートフォンに選んだ機能の画面が表示されます。
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。

## ニックネームを変更する

カメラのニックネームを変更することができます。

### 1 ニックネーム画面を表示する

- MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [ニックネーム] → [🔍] ボタンの順に選びます。

### 2 ニックネームを編集する

- 表示されたキーボードでニックネームを編集します。



## 接続設定を変更／削除する

カメラに保存されている接続設定の変更や削除を行います。接続設定の変更や削除は、Wi-Fi 接続を終了してから操作します。

### 1 カメラが起動した状態で〔P〕ボタンを押す



### 2 項目を選ぶ

- 左の画面が表示されたら◀/▶ボタンを押して画面を切り換えます。



- 左の画面から、接続設定の変更や削除を行う項目を選びます。

### 3 [接続先の機器の編集] を選ぶ

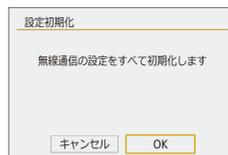
- 表示される画面で接続設定の変更や削除する機器を選び、設定の変更や削除を行います。



## 無線通信の設定を初期化する

無線通信の設定をすべて削除します。カメラを貸与したり譲渡したときに、無線通信の設定情報が流出することを防ぐことができます。

### 初期化する



- MENUボタン → [P] → [P 1] → [無線通信の設定] → [設定初期化] → [OK] の順に選びます。



## Bluetoothでペアリングしている機器の登録を解除する

ほかのスマートフォンとペアリングするときは、接続しているスマートフォンの登録を解除します。

### ■ カメラ側の操作

- MENUボタン → [📷] → [📷 1] → [無線通信の設定] → [Bluetooth機能] → [接続先情報の確認 / 登録解除] → INFOボタン → [OK] → Ⓜ️ボタンの順に選びます。

### ■ スマートフォン側の操作

- スマートフォンを操作して、OSのBluetooth設定画面からカメラの登録を解除します。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## アクセサリー

別売りのアクセサリーや市販の対応機器を使って、カメラの楽しみかたを広げることができます。

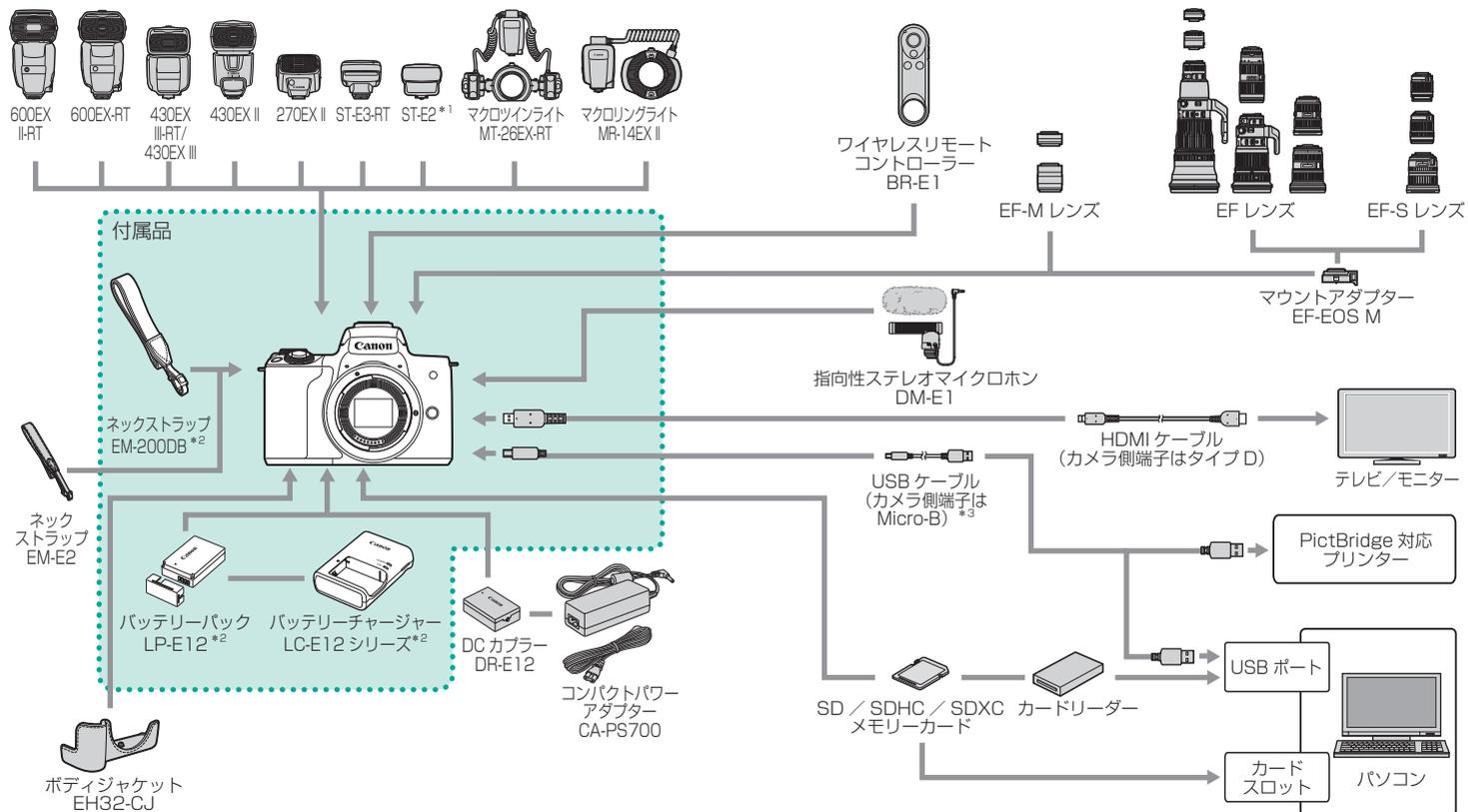
### アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



## システムマップ



- \*1 レンズによってはオフカメラシューコード OC-E3 が必要です。
- \*2 別売りも用意されています。
- \*3 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-600PCU) もあります。

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 別売アクセサリー

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリーは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

## レンズ

## EF-M レンズ、EF レンズ、EF-S レンズ

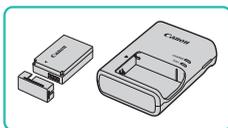
- 目的や表現にあわせてレンズを交換できます。なお、EF レンズ、EF-S レンズを付けるときはマウントアダプター EF-EOS M が必要です。



## マウントアダプター EF-EOS M

- EF レンズ、EF-S レンズを付けるときに使うマウントアダプターです。

## 電源



## バッテリーパック LP-E12

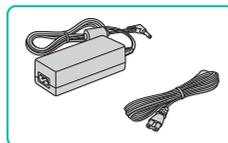
- 充電式のリチウムイオン電池です。

## バッテリーチャージャー LC-E12 シリーズ

- バッテリーパック LP-E12 用のバッテリーチャージャーです。

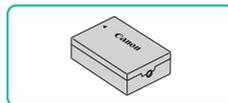


- バッテリーには、充電状態を見分けることができるカバーがついています。充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを付けます。



## コンパクトパワーアダプター CA-PS700

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、このコンパクトパワーアダプターと DC カプラーをお使いになることをおすすめします(カメラ内のバッテリーは充電できません)。



## DC カプラー DR-E12

- コンパクトパワーアダプターとあわせて使います。



- バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## ストロボ



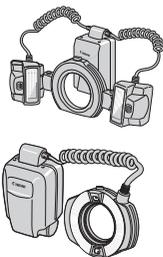
スピードライト 600EX II-RT、  
600EX-RT、430EX III-RT、430EX III、  
430EX II、270EX II

- クリップオンタイプの外付けストロボで、多彩なストロボ撮影ができます。なお、580EX II、580EX、550EX、430EX、420EX、380EX、320EX、270EX、220EX、90EX もお使いになれます。



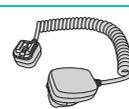
スピードライトトランスミッター  
ST-E3-RT、ST-E2

- スピードライト（220EX、270EX を除く）をワイヤレスで制御できます。
- ST-E2 をお使いになるとき、レンズによってはオフカメラシューコード OC-E3 が必要です。



マクロツインライト MT-26EX-RT  
マクロリングライト MR-14EX II

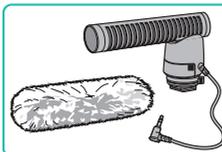
- 外付けのマクロストロボで、多彩なマクロストロボ撮影ができます。なお、MR-14EX もお使いになれます。



オフカメラシューコード OC-E3

- スピードライトをカメラから離して使うための接続コードです。

## マイク



指向性ステレオマイクロホン DM-E1

- 動画撮影中のレンズやカメラの動作音が録音されるのを軽減できます。

## その他のアクセサリ



ワイヤレスリモートコントローラー  
BR-E1

- Bluetooth 対応のワイヤレスリモコンです。



ボディジャケット EH32-CJ

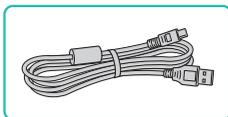
- カメラに付けて、キズやホコリから守ったり、カメラの印象を変えることができます。



ネックストラップ EM-E2

- やわらかく肌触りのいいストラップです。

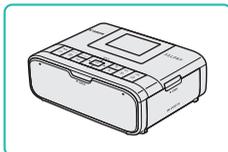




### インターフェースケーブル IFC-600PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。

## プリンター



### キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに撮影した画像を印刷できます。

## 別売アクセサリーの使いかた

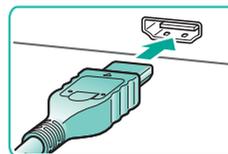
### テレビで見る

市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

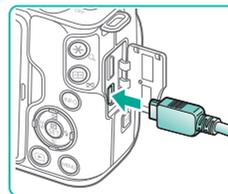
#### 1 カメラとテレビの電源を切る

#### 2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。



#### 3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



## 4 カメラの電源を入れる

- 電源スイッチを [ON] にします。
-  ボタンを押します。
- 画像がテレビに表示されます (カメラの画面には何も表示されません)。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。
- HDMI 出力中に 4K 動画とハイビジョン画質の動画を切り換えたり、異なるフレームレートの動画に切り換えると、次の画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。



- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。

## HDR 対応テレビで RAW 画像を見る

HDR 対応テレビにカメラをつないで、RAW 画像を HDR 表示で見ることができます。

 3] タブの [HDMI HDR 出力] を [入] にすると、HDR テレビの特性にあった色で画像が表示されます。



- HDR 対応テレビの設定が、HDR 入力になっていることを確認してください。お使いになるテレビの入力の切り換え方法は、テレビの使用説明書を参照してください。
- お使いのテレビによっては、思いどおりの効果で表示されないことがあります。
- HDR テレビに表示しているときは、画像の効果や一部の情報が表示されないことがあります。

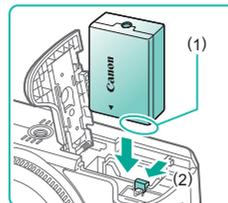
## 家庭用電源でカメラを使う

コンパクトパワーアダプター CA-PS700 (別売) と DC カプラー DR-E12 (別売) をあわせて使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

### 1 カメラの電源を切る

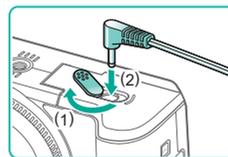
### 2 カプラーを入れる

- ふたを開き、カプラーの端子部 (1) を図の向きにして、バッテリーロックを (2) の方向へ動かしたままカプラーを入れます。
- ふたを閉めます。



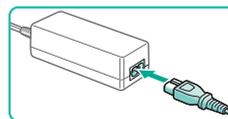
### 3 プラグをカプラーにつなぐ

- カバーを開き、アダプターのプラグをカプラーの端子にしっかりと差し込みます。



### 4 電源コードを付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

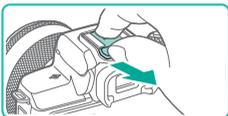




- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

## アクセサリシューを使う

外付けストロボ（別売）や外付けマイク（別売）を取り付けるときに使います。



### 1 アクセサリシューキャップを取り外す

- キャップを図の矢印の方向に引き抜きます。
- 取り外したキャップはなくさないよう、外付けストロボや外付けマイクのケースに入れます。



### 2 アクセサリシューキャップを取り付ける

- 外付けストロボや外付けマイクを取り外したときは、アクセサリシューを保護するためにキャップを取り付けます。
- キャップを図の矢印の方向に差し込みます。

## 外付けストロボ（別売）を使う

スピードライト EX シリーズ（別売）を使うと、より高度なストロボ撮影ができます。



- スピードライト EX シリーズ以外のキヤノン製ストロボでは「発光しない」、「フル発光する」など正しく発光しないことがあります。
- 他社製のストロボ（特に高圧タイプのストロボ）やストロボ用付属品を使うと、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがあります。



- お使いになるスピードライト EX シリーズの使用説明書もあわせて参照してください。なお、このカメラは、EX スピードライトの全機能が使用できる、A タイプカメラに属しています。

### 1 ストロボを取り付ける

### 2 撮影モードをP/Tv/Av/Mモードにする

- 他の撮影モードでは自動調光で発光するので、設定は変更られません。

### 3 外付けストロボを設定する



- マクロリングライトまたはマクロツインライトのコードやオフカメラシューコードが、発光部にかからないようにしてください。
- 三脚を使うときは、発光部が三脚に当たらないように、三脚の向きを調整してください。





- スピードライト EX シリーズを取り付けているときは、内蔵ストロボの設定画面が表示されないため設定できません。
- 外部ストロボの AF 補助光は光りません。

## 外付けストロボの機能を設定する

外付けストロボを取り付けているとき、[カメラ] タブの [ストロボ制御] では次の設定が行えます。

- ストロボの発光
- E-TTL II 調光方式
- スローシンクロ
- セイフティ FE
- 外部ストロボ機能設定 (41)
- 外部ストロボカスタム機能設定 (41)
- 設定初期化 (41)



- [カメラ] → [ストロボ制御] → [外部ストロボ機能設定] を選び、[MENU] ボタンを押します。
- 左の画面が表示されます。
- 項目を選んで [MENU] ボタンを押したあと、内容を選んで [MENU] ボタンを押します。



- 外付けストロボを取り付けているときは、[内蔵ストロボ機能設定] は使えません。
- 画面に表示される内容や設定できる項目は、ストロボの機種や現在設定されているストロボの発光モード、ストロボカスタム機能の設定状態などにより異なります。使用するストロボが対応している機能については、ストロボ (別売) の使用説明書を参照してください。
- ストロボ機能設定に対応していない EX スピードライトでは、[調光補正] のみ設定できます (一部の EX スピードライトでは、[シンクロ設定] も設定できます)。

## 外付けストロボのカスタム機能を設定する

ストロボのカスタム機能については、ストロボ (別売) の使用説明書を参照してください。



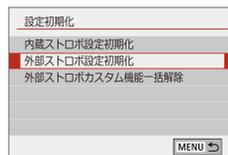
- [カメラ] → [ストロボ制御] → [外部ストロボカスタム機能設定] を選び、[MENU] ボタンを押します。
- 項目を選んで [MENU] ボタンを押したあと、内容を選んで [MENU] ボタンを押します。



- EX シリーズスピードライト使用時に、[調光方式] を [1:TTL] (自動調光) に設定して撮影するとストロボはフル発光します。

## 外付けストロボの機能を初期化する

[外部ストロボ機能設定] と [外部ストロボカスタム機能設定] の設定をそれぞれ初期化することができます。



- [カメラ] → [ストロボ制御] → [設定初期化] を選び、[MENU] ボタンを押します。
- 項目を選んで [MENU] ボタンを押したあと、[OK] を選んで [MENU] ボタンを押します。



## ソフトウェアを使う

ここでは、弊社 Web サイトからダウンロードするソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

### ソフトウェアについて

ソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

- EOS Utility (イオス ユーティリティ)
  - 画像の取り込みやカメラの各種設定
- Digital Photo Professional (デジタル フォト プロフェッショナル)
  - RAW 画像を含む画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集
- Picture Style Editor (ピクチャー スタイル エディター)
  - ピクチャースタイルの編集、ピクチャースタイルファイルの作成/保存
- Image Transfer Utility 2 (イメージ トランスファー ユーティリティ ツー)
  - パソコンへの画像自動送信
- Map Utility (マップユーティリティ)
  - 画像に記録されている GPS 情報を地図上で表示



- パソコンで動画を見たり編集するときは、カメラで撮影した動画に対応したソフトウェア (パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア) をお使いください。



- 弊社 Web サイトより最新のソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

### パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンの詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

### インストールする

#### 1 ソフトウェアをダウンロードする

- パソコンからインターネットへ接続し、次のサイトに接続します。

<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>

- ソフトウェアをダウンロードします。

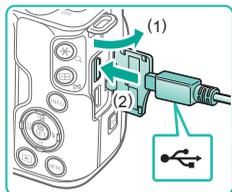
#### 2 画面の指示にしたがって操作する

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールします。



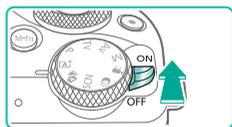
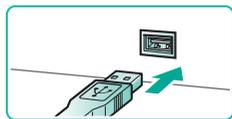
## 画像をパソコンに取り込む

市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラとパソコンをつないで、画像をパソコンに取り込みます。



### 1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開きます (1)。ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



### 2 カメラの電源を入れて EOS Utility を表示する

- 電源スイッチを [ON] にします。
- Windows では、デスクトップにある EOS Utility のアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS では、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）にある EOS Utility のアイコンをクリックします。
- 2 回目以降は、カメラとパソコンを接続したときは、カメラの電源を入れると EOS Utility が起動します。

## 3 画像をパソコンに取り込む

- [画像をパソコンに取り込み] → [自動取り込み開始] の順にクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されたあと、Digital Photo Professional が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- 取り込みが完了したら EOS Utility を閉じ、カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは Digital Photo Professional をお使いください。動画を見るときはカメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- 初めてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
  - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかります。
  - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
  - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
  - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
  - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。





## 印刷する

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

### かんたん印刷

撮影した画像は、市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）をつないで、かんたんに印刷できます。

#### 1 カメラとプリンターの電源を切る

#### 2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

#### 3 プリンターの電源を入れる



#### 4 カメラの電源を入れる

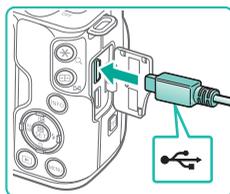
#### 5 画像を選ぶ

#### 6 印刷画面を表示する

- ⓪ボタンを押したあと [この画像を印刷] を選び、⓫ボタンを押します。

#### 7 印刷する

- [印刷] を選び、⓬ボタンを押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



## 印刷設定をする



### 1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」(M44)の手順1～6の操作で左の画面を表示します。

### 2 設定する

- 項目を選び、ボタンを押します。
- 表示される画面で内容を選んだあと、ボタンを押して印刷画面に戻ります。

## 印刷指定 (DPOF)

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数をカメラで指定することができます。

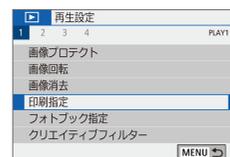
カード内の最大998画像を選んで設定すると、一括印刷(M46)や写真店へ印刷を注文することができます。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。



- RAW画像と動画は指定できません。

## 印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



### 1 [印刷指定] を選ぶ

- タブの [印刷指定] を選び、 ボタンを押します。

### 2 [設定] を選ぶ

- [設定] を選び、 ボタンを押します。

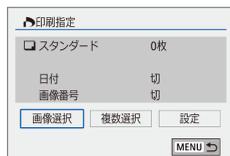
- 項目を選び、 ボタンを押します。
- 表示される画面で内容を選んだあと、**MENU**ボタンを押して印刷指定画面に戻ります。



- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- ほかのカメラで印刷指定した画像を、このカメラで再度印刷指定しないでください。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。



## 印刷する画像を指定する



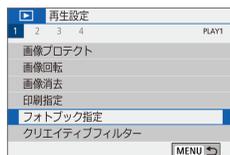
## 1 印刷する画像を選ぶ

- 「印刷内容を指定する」(P45)の手順1の操作で左の画面を表示します。
- 「画像選択」か「複数選択」を選び、**MENU**ボタンを押します。
- 表示される画面内容にしたがって、印刷指定する画像を選びます。

## フォトブック指定

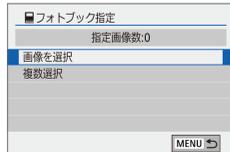
カード内の画像からフォトブックにしたい画像を指定(最大998画像)し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

## 1 枚ずつ指定する



## 1 「[フォトブック指定]」を選ぶ

- MENU**ボタン → **[▶ 1]** → 「[フォトブック指定]」を選び、**MENU**ボタンを押します。



## 2 「[画像を選択]」を選ぶ

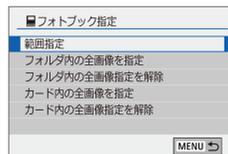
- 「[画像を選択]」を選び、**MENU**ボタンを押します。



## 3 画像を選ぶ

- 画像を選び、**MENU**ボタンを押します。
- [✓]**が表示されます。
- もう一度**MENU**ボタンを押すとフォトブック指定が解除されます。**[✓]**が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- MENU**ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

## 複数の画像をまとめて指定する



- 「1枚ずつ指定する」(P46)の手順2の操作で「複数選択」を選び、左の画面を表示します。
- 項目を選び、**MENU**ボタンを押します。
- 表示される画面内容にしたがって、指定する画像を選びます。



- ほかのカメラで印刷指定した画像を、このカメラで再度印刷指定しないでください。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- RAW画像と動画は指定できません。



## 第 2 部

### 注意やヒント

#### 本体に関する注意やヒント

カメラを準備するときや、カメラの基本的な操作に関する注意などを記載しています。

#### 日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラやモニターに水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押ししたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラやモニターを拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、修理受付窓口にご相談ください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは 1 年に 1 回程度充電し、使い切ってから保管してください。
- カメラやレンズの接点を触らないでください。カメラの動作不良の原因になることがあります。
- レンズを外すと撮像素子が見えますが、損傷のおそれがありますので、撮像素子には触らないでください。
- 指などでシャッターの動作を阻害しないでください。故障の原因になります。
- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを付けてください。
- 撮像素子の前面には、外部から入り込むゴミのほかに、ごくまれにカメラ内部の潤滑剤などが付着することがあります。撮像素子の自動清掃後に汚れが画像に写り込むときは、修理受付窓口撮像素子の清掃をお申し付けください。
- カメラ本体とレンズのマウント部分を、定期的に市販のレンズクリーナー（布製）で拭くことをおすすめします。



## 準備する

### バッテリーを充電する

- カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。
- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- バッテリーチャージャーに異常が発生すると、保護回路が働いて充電が中止され、ランプがオレンジ色に点滅します。そのときは、バッテリーチャージャーをコンセントから抜いたあと、バッテリーを付けなおしてください。しばらく経ってからもう一度バッテリーチャージャーをコンセントに差し込んでください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減ります。充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーのカバーを付けるときは、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにすると、充電状態を見分けることができます。

### バッテリーとカードを入れる／取り出す

- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。
- 電源を入れたままバッテリーを取り出すと設定中の内容が解除されることがあります。
- 新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを動かしてロックを解除してください。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。

### 日付／時刻／エリアを設定する

- 電源を入れたときに [日付 / 時刻 / エリア] 画面が表示されたときは、現在の日時 / エリアを正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。
- 日付 / 時刻 / エリアを設定する画面で、[設定] を [戻る] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- 日付 / 時刻 / エリアの設定が解除されているときは、もう一度正しく設定してください。



## レンズを使う

- ズーム操作は、ピント合わせの前に行います。ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- レンズ保護のため、撮影しないときはレンズキャップを付けてください。
- お使いのレンズによっては、内蔵ストロボを使うとストロボ光がケラレて画像の一部が暗くなることがあります。
- ゴミやほこりについて、普段から次のことに注意してください。
  - レンズの交換は、ほこりの少ない場所で素早く行う
  - レンズを外してカメラを保管するときは、カメラのキャップを必ず付ける
  - カメラのキャップは、ゴミやほこりを落としてからカメラに付ける
- 撮影画面は、35mm 判カメラの撮影画面より小さいため、付けたレンズの焦点距離（有効撮影画角）は、「表記焦点距離×約 1.6 倍」相当になります。例えば、焦点距離が 15-45mm のレンズは、35mm 判カメラ換算で焦点距離が約 24-72mm になります。

## EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける

- 別売のマウントアダプター EF-EOS M を使用すると、EF レンズ、EF-S レンズも使用できます。
- カメラより重いレンズを使うときは、レンズ側を支えて、持ち運び・撮影をしてください。
- アダプターを使うため、レンズの最短撮影距離が長くなり、最大撮影倍率や撮影範囲が変わることがあります。
- 自動ピント合わせのときに、レンズの先端（フォーカシング）が動くレンズは、動いている部分に触れないでください。
- 一部の超望遠レンズのフォーカスプリセット機能やパワースームは使えないことがあります。
- アダプターを付けた状態で三脚を使うときは、アダプターに付属の三脚座を使ってください。カメラの三脚ねじ穴は使わないでください。

- 超望遠レンズなど、三脚座が付いた EF レンズを使うときは、レンズの三脚座に三脚を付けてください。
- 手ブレ補正機能のあるレンズを付けると、撮影するときのわずかなカメラの動き（手の揺れ）を補正できます。なお、手ブレ補正機能のあるレンズの名称には「IS」が付いています。IS は、Image Stabilizer（イメージスタビライザー）の略で、手ブレ補正機能のことです。

## カメラを構える

- ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

## 電源の入れかた／切りかた

- EF-M レンズを付けていると、電源が切れているときは、カメラ内部保護のため、絞りを絞り込んでカメラ内部に光が入りにくいようにしています。そのため、電源を入り切りしたときに絞りが動く小さな音がします。
- 電源を入り切りしたときに、撮像素子の自動清掃が行われます（小さな音が鳴ることがあります）。また、電源が切れたときは、清掃中に画面に「

## シャッターボタンの押しかた

- 意図した被写体にピントが合った画像を撮るために、シャッターボタンを浅く押し「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押し「全押し」をして撮影します。
- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、意図した被写体にピントが合わない画像になることがあります。

## ファインダーの使いかた

- ファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素数がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- ファインダーとカメラの画面を同時に表示することはできません。
- アスペクト比の設定によっては、左右または上下に黒帯が表示されません。この部分は撮影されません。
- [👉4] タブの [表示先設定] を選び、[表示先切り換え] を [マニュアル] にしたあと、[マニュアル表示先] を [ファインダー] にすると、ファインダーから目を離してもカメラの画面に表示されなくなります。
- [👉4] タブの [撮影画面表示設定] を [省電力優先] にすると、電力消費を抑えることができますが、ファインダーとカメラの画面の表示が粗くなる場合があります。
- ファインダーとカメラの画面の明るさは、[👉2] タブの [画面の明るさ] でそれぞれに設定することができます。
- [👉4] タブの [ファインダー表示形式] を [表示 2] にすると、撮影画面を縮小して表示できます。

## モニターの向きや角度の変えかた

- 撮影モードでモニターを開いてレンズ側に向けると、画像が鏡像（左右反転）で表示されます。ただし、[👉4] タブの [鏡像表示] で [切] を選ぶと、鏡像表示されません。
- カメラを使わないときは画面を保護するため、必ずモニターを内側に向けて収納した状態で保管してください。
- モニターは、故障の原因となるため無理に広げないでください。

## 撮影画面に表示される枠

- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあるので、そのときは **P**モードで撮影することをおすすめします。

## クイック設定画面の表示と操作方法

- 設定内容は、ダイヤルを回しても選ぶことができます。

## MENU（メニュー）の表示と操作方法

- 表示される項目は、選んでいる撮影モードによって変わります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 文字の入力方法

- 入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。
- [✕] をタッチすると、前の 1 文字が消去されます。[✕] をタッチしたままにすると、5 文字ずつ消去されます。
- 一部の機能では [↶] は表示されず使えません。
- 文字を入力するときは、▲/▼/◀/▶ボタンを押して文字やアイコンを選び、Ⓞボタンを押して操作することもできます。

## ランプの表示

- ランプ（背面）が点灯/点滅しているときは、「電源を切る」、「カード/バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## カメラまかせで撮る

### プラスムービーオートモードで撮る

- 静止画を撮影する約 4 秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。
- 静止画と動画が記録されます。動画の 1 シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1 つのチャプターになります。
- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、**[C]**モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり**[M]**モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラやレンズを操作したときの音と振動が記録されます。
- ダイジェスト動画の画質は、**[HD 29.97P]** (NTSC 時) または **[HD 25.00P]** (PAL 時) です。ビデオ方式の設定によって異なります。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に**[M]**モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
  - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 29 分 59 秒になったとき
  - ダイジェスト動画を保護したとき
  - サマータイムの設定、ビデオ方式、エリア設定、著作権の情報を変えたとき
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。**[C]** タブの **[ダイジェスト形式]** を選び、**[静止画なし]** を選んでください。

## 撮影に関する注意やヒント

いろいろな撮影モードを使用して、静止画や動画を撮影するときの注意などを記載しています。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 静止画

- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームが表示され、全押ししても撮影できません。
- 人や被写体が検出されないときや、暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。
- シャッタースピードや絞り数値が点滅表示したときは手ブレしやすくなります。カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためランプ（前面）が点灯することがあります。
- ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなる場合があります。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

## 動画

- 画面の上下に表示される黒い帯の部分は撮影されません。
- 動画撮影を開始すると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。
- 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。
- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。

- 動画撮影中に動画ボタンや画面のタッチ以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。撮影中の設定変更などはタッチ操作で行うことをおすすめします。
- レンズやカメラの動作音も録音されます。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影を始めると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさを撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください。
- 音声はステレオで録音されます。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。なお、音声を録音しないときは、[📷] タブの [録音] を選び、[しない] を選んでください。
- [📷] タブの [動画サーボ AF] で [しない] を選ぶと、動画撮影中、ピント位置を固定できます。
- 1 回の撮影で容量が 4 GB を超える動画はファイルが分割されることがあります。分割された動画を自動で連続再生することはできません。動画ごとに再生してください。

## シーンのアイコン

- 📷/📷モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。
- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあるので、そのときはPモードで撮影することをおすすめします。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）

- カメラ用語の知識がなくても、自分好みの写真を撮ることができます。わかりやすい言葉で表現された項目を、画面を見ながら設定することで、背景をぼかしたり明るさを変えたりすることができます。

 背景ぼかし	背景のぼかし具合を設定できます。設定値が大きいほど背景がくっきりし、小さいほど背景がぼけた画像になります。
 明るさ	画像の明るさを設定できます。値が大きいほど明るくなります。
 コントラスト	コントラスト（明暗差）の強さを設定できます。値が大きいほどコントラストの強い画像になります。
 鮮やかさ	色の鮮やかさを設定できます。値が大きいほど鮮やかになり、小さいほどすっきりした画像になります。
 色あい 1	色あいを設定できます。値が大きいほどアンバーが強くなり、小さいほどブルーが強くなります。
 色あい 2	色あいを設定できます。値が大きいほどグリーンが強くなり、小さいほどマゼンタが強くなります。
 モノクロ	モノクロで撮影するときの色調を、[白黒][セピア][青][紫][緑]から選べます。[切]ではカラーで撮影されます。なお、[切]以外にしたときは、[鮮やかさ][色あい 1][色あい 2]は選べません。

- ストロボ撮影時、[背景ぼかし] は設定できません。
- 撮影モードを変えたり電源を切ると、設定した内容は初期設定に戻りますが、[カメラ] タブの [クリエイティブアシスト設定記憶] を [する] に設定すると設定が保持されるようになります。

## クリエイティブアシストの設定を登録する

- [背景ぼかし][明るさ][コントラスト][鮮やかさ][色あい 1][色あい 2][モノクロ] など、自分好みの効果を設定することもできます。
- 設定した内容は、最大 3 つまでプリセットに登録できます。
- プリセットに設定が 3 つまで登録されているときは、新しい設定はすでに登録されている設定と入れ換えることができます。なお、入れ換えた設定をもとに戻すことはできません。

## いろいろなシーンで撮る

### 自分撮り

- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをおすすめします。
- [美肌] モードを選んだあと [設定] ボタンを押して [美肌効果] や [背景] を選び、ダイヤルを回して好みの効果に設定することもできます。
- [美肌] モードで設定した [美肌効果] は、[標準] モードには反映されません。
- ストロボモードを [ON] にしてストロボを上げているときは、[背景] は [AUTO] に固定されます。
- 外付けストロボを取り付けているときは、ストロボは発光されません。

### 美肌

- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをおすすめします。
- [美肌] モードで設定した内容は、[標準] モードの設定には反映されません。



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## スポーツ

- 撮影シーンによっては ISO 感度が高くなるため、画像が粗くなる場合があります。

## クローズアップ

- 被写体に近づくことができる距離（最短撮影距離）は、付けているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の （撮像面マーク）から被写体までの距離です。
- マクロレンズ（別売）を使うと、小さなものをより大きく写すことができます。

## 料理

- [P] モードを選んだあと  ボタンを押して [色あい] を選び、 ダイヤルを回して好みの効果に設定することもできます。
- 人は適切な色あいにならないことがあります。
- ストロボ撮影時は、色あいの設定が標準設定に切り換わります。

## 流し撮り

- [AF] モードに対応しているレンズについては、弊社 Web サイトを参照してください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。
- 脇をしめてカメラを両手でしっかりと構え、体全体を回すように被写体を追って撮影することをおすすめします。
- 電車や自動車など水平方向に動く被写体を撮影するとより効果が発揮されます。

## 手持ち夜景

- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、ノイズが軽減されます。
- 撮影シーンによっては ISO 感度が高くなるため、画像が粗くなる場合があります。
- 連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- ストロボ撮影時はシャッター速度が遅くなることもあるため、カメラが動かないように固定することをおすすめします。

## HDR 逆光補正

- 連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- プレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

## サイレントモード

- ストロボ撮影、連続撮影はできません。
- 撮影中に画面の外側に枠が表示されます。
- カメラを動かしたり、動きのある被写体を撮影すると、画像がゆがんで撮影されることがあります。



## 効果をつけて撮る

### ソフトフォーカス

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

### 魚眼風

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

### トイカメラ風

- [] モードでは、画像に次の効果をつけることができます。

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

### ジオラマ風

- [] モードを選ぶと、画面に白い枠(ぼかさない範囲)が表示されます。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

### HDR 絵画調標準 / HDR グラフィック調 / HDR 油彩調 / HDR ビンテージ調

- 明暗差の大きい風景などで白トビや黒ツブレをおさえることができます。
- シャッターボタンを全押しすると、3枚連続して撮影されたあと、画像が合成されます。そのため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。

- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

## カメラを設定して撮る

### 撮影機能を一覧にして設定する

- 表示される項目、設定できる項目は撮影モードによって異なります。
- 機能を選んだあとボタンを押して、画面を切り換えて設定できる機能もあります。切り換えた画面で [**INFO**] が表示される項目は、**INFO**ボタンを押して設定できます。ボタンを押すと撮影機能画面に戻ります。

### 明るさ（露出）に関する機能を使う

#### 明るさを変える（露出補正）

- [ 2] タブの [露出補正 / AEB 設定] でも設定することができます。

#### 露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

- AEB 設定を解除するときは、設定した手順で AEB の補正量を 0 にします。
- ストロボ使用時、マルチショットノイズ低減機能設定時、クリエイティブフィルター撮影時、バルブ撮影時は、AEB 撮影できません。
- 露出補正をしているときは、設定している値を標準露出とした AEB 撮影ができます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 明るさ（露出）を固定する（AEロック）

- AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに、ダイヤルを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。
- P/Tv/Av/M**モードでは  3 タブの [測光タイマー] の設定時間に応じて露出値が表示されます。

## 測光方式を変える

-  ではシャッターボタンを半押ししたときに露出が固定されます。   では、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
-  3 タブの [測光モード] でも測光方式を設定することができます。

## ISO 感度を変える

- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになります。ただし、画像は粗くなります。
- M-Fn**ボタンを押しても ISO 感度を変えることができます。
-  2 タブの  ISO 感度に関する設定] にある [ISO 感度] でも ISO 感度を変えることができます。

## 明るさ・コントラストを自動補正する （オートライティングオプティマイザ）

- 撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときまたは高いときに、明るさやコントラストを自動的に補正できます。
- 撮影条件によっては、ノイズが増えることがあります。
- オートライティングオプティマイザの効果が強すぎて、画像が明るすぎるときは、 または  に設定して撮影してください。
-  以外の設定では、露出補正やストロボ調光補正で暗めに設定しても、明るく撮影されたり、露出補正の効果が小さくなる場合があります。設定したとおりの明るさで撮影したいときは、 に設定してください。
-  2 タブの [オートライティングオプティマイザ] でも明るさやコントラストの自動補正を設定できます。
-  1 に設定しているときは、連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。

## 明るい被写体を撮影する（高輝度側・階調優先）

- 高輝度側・階調優先を **[D+]** **[D+2]** に設定すると、ISO 感度を ISO 160 以下には設定できません。また、オートライティングオプティマイザは  に固定されます。
- 撮影シーンによっては、**[D+2]** を選んでも思いどおりの効果が得られないことがあります。

## 色に関する機能を使う

### 色あいを調整する（ホワイトバランス）

-  を選んだあと  ボタンを押して、[オート（雰囲気優先）] か [オート（ホワイト優先）] を選ぶことができます。
-  4 タブの [ホワイトバランス] で項目を設定することもできます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## マニュアルホワイトバランス

- 撮影した白い被写体の画像が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できないことがあります。
- 画像を選びなおすときは [キャンセル] を選んでください。[OK] を選ぶとその画像で白データが取り込まれますが、適切なホワイトバランスにならないことがあります。
- 白い被写体の代わりに、市販のグレーチャートや 18%標準反射板を撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。
- 白い被写体を撮影するときのホワイトバランスはどの設定でもかまいません。

## ホワイトバランスを補正する

- 補正量を設定したあとにホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されます。
- 補正量の詳細設定をする画面の B はブルー、A はアンパー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- ブルー／アンパー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 5 ミレッドに相当します (ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位)。
- [ 4] タブの [WB 補正 /BKT 設定] でも補正量を設定することができます。
- 補正量を設定する画面で ダイヤルを回すと、ホワイトバランスを自動的に変えて撮ることができます (ホワイトバランスブラケティング)。1 回の撮影で色あいの異なる 3 枚の画像が記録されます。

## ホワイトバランスの色温度を設定する

- 設定できる色温度の範囲は、約 2500 ~ 10000K (100K ステップ) です。

## 色空間について

- Adobe RGB は主に商用印刷などの業務用途で使用します。画像処理と Adobe RGB、DCF 2.0 (Exif 2.21 以上) についての知識がない方にはおすすめできません。sRGB のパソコン環境や、DCF 2.0 (Exif 2.21 以上) に対応していないプリンターでは、とても控えめな感じに仕上がるため、撮影後、パソコンのソフトウェアなどで画像処理を行う必要があります。
- 色空間を Adobe RGB に設定して撮影した静止画は、ファイル名の先頭文字が「\_」(アンダーバー) になります。
- ICC プロファイルは付加されません。ICC プロファイルについては、Digital Photo Professional 使用説明書を参照してください。

## 好みの色あいにする (ピクチャースタイル)

- ピクチャースタイルで選択可能な項目は、次のとおりです。

オート	撮影シーンに応じて、色あいが自動調整されます。特に自然や屋外シーン、夕景シーンでは、青空、緑、夕景が色鮮やかな写真になります。
スタンダード	鮮やかで、くっきりした写真になります。通常はこの設定でほとんどのシーンに対応できます。
ポートレート	肌色がきれいで、ややくっきりした写真になります。人物をアップで写すときに効果的です。[色あい] を変えると、肌色を調整できます。
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした写真になります。印象的な風景を写すときに効果的です。
デティール重視	被写体の細部の輪郭や繊細な質感の描写に適しています。やや鮮やかな写真になります。



 ニュートラル	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。自然な色あいで、メリハリの少ない控えめな写真になります。
 忠実設定	パソコンでの画像処理を前提とした設定です。5200K（色温度）程度の環境光下で撮影した写真が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるように色調整されます。メリハリをおさえた落ち着いた写真になります。
 モノクロ	白黒写真になります。
 ユーザー設定	[ポートレート] や [風景]、ピクチャースタイルファイルなどの基本スタイルを登録して、好みにあわせて調整できます。

-    が未登録のときは、[オート] の初期設定と同じ設定になります。
-  4 タブの [ピクチャースタイル] でもピクチャースタイルを設定できます。

### ピクチャースタイルを自分の好みに調整する

- ピクチャースタイルで調整できる項目は、次のとおりです。

シャープネス	 強さ	輪郭線の強調レベルを調整できます。数値が小さいほど柔らかい(ぼやけた)感じに、数値が大きいほど硬い(シャープな)感じになります。
	 細かさ	強調する輪郭線の細かさを示しています。値が小さいほど、より細部が強調されやすくなります。
	 しい値	「周囲に比べ、どの程度のコントラスト差があれば輪郭線を強調するか」の設定です。値が小さいほど、コントラスト差が少ない輪郭線が強調されやすくなります。なお、値を小さくすると、ノイズも強調されやすくなります。

 コントラスト	コントラスト（明暗差）を調整できます。数字が小さいほどコントラストが弱く、数字が大きいほど強くなります。
 色の濃さ *1	色の濃さを調整できます。数字が小さいほど薄く、数字が大きいほど濃くなります。
 色あい *1	肌の色あいを調整できます。数字が小さいほど赤めに、数字が大きいほど黄色寄りになります。
 フィルター効果 *2	モノクロの画像で白い雲や木々の緑を強調できます。 N: フィルター効果なしの通常の白黒画像になります。 Ye: 青空がより自然になり、白い雲がはっきりと浮かび上がります。 Or: 青空が少し暗くなります。夕日の輝きがいっそう増します。 R: 青空がかなり暗くなります。紅葉の葉がはっきりと明るくなります。 G: 人物の肌色や唇が落ち着いた感じになります。木々の緑の葉がはっきりと明るくなります。
 調色 *2	モノクロの色を、[N:なし] [S:セピア] [B:青] [P:紫] [G:緑] から選べます。

\*1  では設定できません。

\*2  でのみ設定できます。

- [シャープネス] の [細かさ] [しい値] は、動画には反映されません。
- ピクチャースタイルを調整したあと、変更内容を戻すときは、**INFO** ボタンを押します。
- [コントラスト] を強くすると、[フィルター効果] がより強調されます。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 好みのピクチャースタイルを登録する

- ソフトウェア EOS Utility を使ってカメラに登録したスタイルを、基本にするピクチャースタイルとして選ぶこともできます。
- ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「インストールする」(P42) を参照してください。

## ピント合わせに関する機能を使う

### ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

### AF 方式を選ぶ

- 暗い被写体、明暗差 (コントラスト) のない被写体、非常に明るいシーンや一部の EF レンズや EF-S レンズでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。レンズについて詳しくは、弊社 Web サイトで確認してください。
- 【CAMERA】 タブの [AF 方式] でも AF (自動ピント合わせ) の方法を変えることができます。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームが表示され、全押ししても撮影できません。

### ☑+ 追尾優先 AF

- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- カメラを被写体に向けても顔が検出されないときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。

- 次のときは、被写体の顔が検出されないことがあります。
  - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
  - 被写体が暗い、または明るい。
  - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- 【CAMERA】 ボタンを押すと、[顔セレクト：入] が表示され、主被写体として検出された顔に [☑] が表示されます。続けて【CAMERA】 ボタンを押すと、検出された別の顔に [☑] が移動します。検出された顔を一巡すると [顔セレクト：切] が表示されて解除されます。

### ゾーン AF

- 指定した領域内でピント合わせを行います。ピント合わせをしたい領域を指定するため、[☑+ 追尾優先 AF] や [1 点 AF] で被写体がとらえにくいときに有効です。画面に表示される白いフレーム内でピント合わせを行います。白いフレームは、画面をタッチまたはドラッグして移動することができます。
- 【CAMERA】 タブの [AF 動作] を [サーボ AF] に設定しているときは、ピントが合った位置に青色のフレームが表示されます。

### 1 点 AF

- 1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。
- ピントを合わせたい位置をタッチしてフレームの位置を変えることができます。フレームの位置を変えないで被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しします。この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します (フォーカスロック撮影)。

### 拡大表示にしてピントを確認する

- AF 方式で [AF ( )] か [AF □] を選んでいるときに画面に表示される [Q] をタッチしても拡大表示することができます。



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 被写体の目にピントを合わせて撮る

- 撮影シーンや被写体によっては、被写体の目が正しく検出されないことがあります。
- カメラが被写体の顔や目を検出できないときは、目に枠が表示されません。
- AF 方式を [AF ( )] や [AF □] にしているとき、AF 動作を [SERVO] にしているときは、瞳 AF 機能は使えません。
- [瞳 AF] を [する] にしているときは、[自動サーボ] は [しない] に固定されます。
- 画面で目をタッチしたり、 ボタンを押して、ピントを合わせたい目を変えることもできます。

## サーボ AF で撮る

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。
- ピント合わせ中は、シャッターボタンを全押ししても撮影できないことがあります。被写体を追いつながらシャッターボタンの全押しを続けてください。
- サーボ AF に設定すると、測光モードの設定に関わらず、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- サーボ AF に設定すると、ピントを合わせ続けながら連続撮影ができます。このとき、連続撮影速度が遅くなります。また、連続撮影中にズームすると、ピントがずれることがあります。
- 付けるレンズや被写体との距離、被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、オレンジ色のフレームが表示され、全押ししても撮影できません。
- [ 6] タブの [AF 動作] でも、サーボ AF を設定できます。

## フォーカス設定を切り換える

- コンティニユアス AF 設定の切り換えによる効果は、次のとおりです。

する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。ただし、ピント合わせに時間がかかることがあります。

- コンティニユアス AF を [しない] にすると、タッチして被写体を選んだときは、タッチした位置でピントを合わせることができます。

## タッチして被写体を選ぶ

- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。

## ストロボに関する機能を使う

- [内蔵ストロボ機能設定] の設定を初期化できます。[ 1] タブの [ストロボ制御] にある [設定初期化] で [内蔵ストロボ設定初期化] を選びます。

## ストロボモードを変える

- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなる場合があります。また、ストロボが発光したときに、お使いのレンズによっては画像の一部や周辺部が暗くなる場合があります。
- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや ISO 感度が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。このため、ストロボ撮影時は、シャッターボタンを半押ししたときに画面に表示されるシャッタースピードや ISO 感度と異なる設定で撮影されることがあります。
- [ 1] タブの [ストロボ制御] にある [ストロボの発光] で設定することもできます。



- ストロボ自動発光 [⚡A]
  - 暗いところでは自動的にストロボが光ります。
- ストロボ発光 [⚡]
  - ストロボを常に発光させて撮影できます。
- ストロボ発光禁止 [⊘]
  - ストロボを光らせないで撮影することができます。

### セイフティ FE について

- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的に ISO 感度が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、[📷 1] タブの [ストロボ制御] で [セイフティ FE] を [しない] に設定すると、自動的に ISO 感度が変わらなくなります。

### ストロボの調光量を補正する

- ストロボ調光補正は、[📷 1] タブの [ストロボ制御] にある [内蔵ストロボ機能設定] で [🔍 調光補正] を選んでも設定することができます。
- [内蔵ストロボ機能設定] 画面は、次の方法でも表示できます。
  - ストロボを上げているときに▶ボタンを押してからすぐにMENUボタンを押す。
  - ▶ボタンを押してから [MENU] をタッチする。

### FE ロックで撮る

- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。
- FE ロック中は、画面中央に調光範囲を示す円が表示されます。
- ✳ボタンを押してストロボが発光しても標準露出にならないときは、[⚡] が点滅します。ストロボ撮影に適した距離で✳ボタンを押して FE ロックを行ってください。

### ストロボ発光のタイミングを変える

- シャッタースピードが 1/100 またはそれより速いときは、[後幕シンクロ] を選んでいても、ストロボは [先幕シンクロ] の設定で発光します。

### 調光方式を変える

- [平均調光] では、撮影シーンに応じてストロボ調光補正を行ってください。
- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします (📖 62)。
- ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

### 撮影スタイルにあわせて機能を変える

#### 手ブレ補正の設定を変える

- [手ブレ補正] で設定できる項目は、次のとおりです。

入	手ブレ補正機能を内蔵したレンズで、撮影するときのカメラの動きや手の揺れによるブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

- [📷] モードでは、レンズの手ブレ補正機能の設定に関わらず、撮影する瞬間だけ手ブレを補正します。
- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にすることをおすすめします。
- EF-M 以外のレンズを付けているときは、[手ブレ補正] は表示されません。レンズにある手ブレ補正スイッチで設定してください。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 動画の手ブレを補正する

- コンビネーション IS 対応レンズでは、レンズの手ブレ補正機能とカメラの動画手ブレ補正機能が協調し、より高い補正効果が得られます。コンビネーション IS 対応レンズの情報については、弊社 Web サイトで確認してください。
- 〔動画電子 IS〕で設定できる項目は、次のとおりです。

する	 (コンビネーション IS 対応レンズ装着時)	動画撮影時の手ブレを補正します。画面に表示される範囲が変わり被写体がやや大きくなります。
強	 (コンビネーション IS 対応レンズ装着時)	動画撮影時の手ブレをより強く補正します。被写体は、より大きくなります。
しない	 Off	—

- お使いのレンズによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りすることをおすすめします。
- 〔強〕は、モードでのみ設定できます。

## 自動水平補正について

- 〔動画電子 IS〕を〔する〕または〔強〕に設定しているときは、自動水平補正〕は〔しない〕に固定されます。
- 撮影を始めると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

## レンズの光学特性による影響を補正する

周辺光量補正	レンズの特性によって画像の四隅が暗くなる現象を補正することができます。〔する〕を選ぶと補正された画像が表示されます。なお、ソフトウェア Digital Photo Professional で最大補正を行ったときよりも、控えめに補正されます。補正効果が確認できないときは、Digital Photo Professional で周辺光量補正を行ってください。
歪曲収差補正	レンズの特性によって起こる画像の「ゆがみ」を補正することができます。〔する〕を選ぶと補正された画像が表示されます。なお、画像処理の都合上、画像の周辺部がカットされます。解像感が少し低下することがあるため、必要に応じてピクチャースタイルの〔シャープネス〕で調整してください。
デジタルレンズ 最適マイザ	レンズの収差、回折現象、ローパスフィルターに起因した解像劣化を、光学設計値を利用して補正することができます。なお、〔する〕を選んだときは、〔色収差補正〕〔回折補正〕の項目は表示されませんが、ともに〔する〕で現像されます。
色収差補正	レンズの特性によって起こる色収差（被写体の輪郭部分に現れる色ズレ）を補正することができます。〔する〕を選ぶと補正された画像が表示されます。効果が分かりにくいときは、拡大表示で確認してください。
回折補正	レンズの絞りの影響によって画像の先鋭さが低下する現象を補正することができます。〔する〕を選ぶと補正された画像が表示されます。効果が分かりにくいときは、拡大表示で確認してください。

- 〔周辺光量補正〕を〔する〕に設定したときは、撮影条件により、画像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- ISO 感度が高くなるほど、周辺光量の補正量は少なくなります。



- [デジタルレンズオプティマイザ] [回折補正] を [する] に設定したときは、次のことに注意してください。
  - 撮影条件によっては、補正効果とともにノイズが強調されることがあります。
  - ISO 感度が高くなるほど、補正量が小さくなります。
  - 動画の撮影では補正されません。
- [回折補正] は、回折現象だけでなくローパスフィルターなどの影響による解像劣化も補正されます。そのため、開放絞り付近でも補正効果があります。

### レンズの補正データについて

- 設定画面に [補正データなし] と表示されたときは、補正するためのデータがカメラに登録されていません。補正データの登録については、次のとおりです。
  - レンズ光学補正に対応しているレンズの補正用データは、カメラに登録 (保存) されています。[周辺光量補正] [歪曲収差補正] [デジタルレンズオプティマイザ] [色収差補正] で [する] を選んでおくと、自動的に補正が行われます。
  - ソフトウェア EOS Utility を使用すると、登録されているレンズが確認できます。また、未登録レンズの補正データをカメラに登録することもできます。補正データが内蔵されているレンズを使用したときは、カメラに補正データを登録する必要はありません。詳しくは、EOS Utility 使用説明書を参照してください。
  - 撮影した JPEG 画像をあとから補正することはできません。
  - 撮影時に拡大表示を行ったときは、[周辺光量補正] [歪曲収差補正] [デジタルレンズオプティマイザ] [回折補正] の効果は画像に反映されません。
  - 距離情報を持たないレンズを使用したときは、補正量が少なくなります (回折補正を除く)。
  - レンズ光学補正の効果は、使用レンズや撮影条件などにより異なります。また、使用レンズや撮影条件などにより、効果が分かりにくいことがあります。
  - 補正データがカメラに登録されていないレンズで撮影したときは、[周辺光量補正] [歪曲収差補正] [デジタルレンズオプティマイザ] [色収差補正] で [しない] を選んだときと同じ撮影結果になります。

### マルチショットノイズ低減機能を使う

- 手ブレなどにより画像のズレ量が大いときは、思いどおりの効果が得られないことがあります。三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように写ったり、被写体の周辺が暗めに写ることがあります。
- 撮影条件によっては、画像周辺部にノイズが発生することがあります。
- ストロボ撮影はできません。
- 通常の撮影よりも、カードに画像が記録されるまでの時間が長くなります。処理が終わるまで次の撮影はできません。

### ゴミ消し情報を画像に付ける

- ダストリリートデータを取得すると、そのあとで撮影したすべての JPEG 画像、RAW 画像にデータが付加されます。大切な撮影をするときは、撮影の直前にデータの再取得 (更新) をおすすめします。
- EOS 用ソフトウェアの Digital Photo Professional による自動ゴミ消し処理については、Digital Photo Professional 使用説明書を参照してください。
- 画像に付加されるダストリリートデータの容量は、ごく小さいため、画像のファイルサイズにはほとんど影響しません。
- 真っ白な無地の被写体 (未使用のコピー用紙など) を撮影してください。被写体に模様などがあると、その模様がゴミ情報として記録され、正しくゴミ消し処理されないことがあります。

### シャッタースピードが遅いときのノイズを低減する

- 撮影後にノイズ低減処理が行われると、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ISO1600 以上の感度で [長秒時露光のノイズ低減] を [ON] に設定して撮影すると、[OFF] [AUTO] 設定時より粗い画像になることがあります。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## シャッタースピードや絞りを決めて撮る

## シャッタースピードを決めて撮る (Tv モード)

- **Tv**は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。
- [長秒時露光のノイズ低減] を [ON] または [AUTO] に設定していると、シャッタースピードを 1 秒またはそれより遅くして撮影したときに、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- ストロボ発光時のシャッタースピードの上限は 1/200 秒です。1/200 秒より速いシャッタースピードに設定しても、1/200 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値が点滅して表示されるときは、標準露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます (セーフティシフトも使えます)。

## 絞り数値を決めて撮る (Av モード)

- **Av**は、Aperture value (アパーチャバリュー) の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードが点滅して表示されるときは、標準露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます (セーフティシフトも使えます)。
- ストロボ発光時のシャッタースピード上限は 1/200 秒です。ストロボ撮影時は、シャッタースピードが 1/200 秒より速いシャッタースピードにならないように、設定した絞り数値が自動的に変わることがあります。
- 絞りは撮影しないときは開いていて、撮影の瞬間だけ大きさが変わります。このため、モニターで見えるピントの合う範囲は狭く(浅く)なっています。ボタンに [絞込み] (絞り込み) を登録すると、登録したボタンを押したときにピントの合う範囲が確認できるようになります。

## シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (M モード)

- **M**は、Manual (マニュアル) の略です。
- 設定できる絞り数値はレンズによって異なります。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッターボタンを半押しすると、設定した値に連動して露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- シャッタースピードと絞り数値を設定したあとにズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [閃] にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、設定したシャッタースピードと絞り数値に対して標準露出になるように ISO 感度が変わるため、思いどおりの露出で撮影できないことがあります。
- オートライティングオプティマイザによって、画像の明るさが変わることがあります。オートライティングオプティマイザの設定画面で [マニュアル露出時は OFF] に [✓] をつけると、**M**モードではオートライティングオプティマイザが [しない] 固定になります。
- 標準露出は設定している測光の方式で算出されます。
- ISO 感度を [AUTO] に設定しているときは次の操作が行えます。
  - 露出補正バーに [露出補正] が表示された状態で、ダイヤルを回して露出を補正できます。
  - **\***ボタンを押して ISO 感度を固定します。画面の明るさが変わります。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 長時間露光（バルブ）撮影

- シャッターボタンを全押ししている間、露光します。露光中は、露光経過時間が表示されます。
- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- 長時間バルブ撮影を行うと、画像に含まれるノイズが多くなり粗い画像になることがあります。[5] タブの [長秒時露光のノイズ低減] を [AUTO] または [ON] に設定するとノイズを低減できます。
- [タッチシャッター] を [する] に設定しているときは、画面をタッチすると撮影が始まり、もう一度タッチすると撮影が終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

## ストロボの発光量を設定する

- [内蔵ストロボ機能設定] 画面は、ストロボを上げているときに▶ボタンを押してからすぐにMENUボタンを押しても表示できます。

## シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る（動画マニュアル露出）

- 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影しているとき、設定したシャッタースピードによっては、画面のちらつきが記録されることがあります。
- 絞り数値が大きいときは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。
- ISO感度を固定しているときは、シャッターボタンを半押しすると、設定した値に連動して露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。
- ISO感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しするとISO感度を確認できます。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベルマークが [◀] または [▶] になります。

## カメラをカスタマイズする

### タッチ & ドラッグ AF の機能を設定する

- [3] タブで [タッチ操作] を [しない] にしているときは、使えません。
- [5] タブの [タッチ&ドラッグAF設定] にある [位置指定方法] でタッチやドラッグ操作の設定を変えたり、[タッチ領域] でタッチやドラッグ操作が有効となる画面の領域を変えることができます。

絶対位置	画面をタッチやドラッグした位置にAFフレームが移動します。
相対位置	画面の位置に関係なく、ドラッグした方向と移動量に応じてAFフレームが移動します。

### カメラの詳細機能を設定する

- [5] タブの [カスタム機能 (C.Fn)] で設定できる項目は、次のとおりです。

機能の分類	機能	説明
C.Fn 1 : 露出	ISO感度拡張	[1: する] に設定すると、ISO感度を [H] に設定できるようになります。[H] のときは、静止画撮影時はISO51200相当、動画撮影時 ([4k 25.00P] [4k 23.98P] 除く) はISO25600相当になります。
	セーフティシフト	[1: する] に設定すると、Tv/Avモードで設定したシャッタースピードや絞り数値で標準露出が得られないとき、標準露出に近づけるように自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されるようになります。



機能の分類	機能	説明
C.Fn II : その他	レンズなしリリース	[1: する] に設定すると、カメラにレンズを付けていなくても、シャッターボタンを全押ししたときや動画ボタンを押ししたときに画像を撮影するようになります。
	電源オフ時のレンズ収納	電源を切ったときに、自動的にレンズを収納するかどうかを設定できます。
	操作ボタンカスタマイズ	 /  /  /  /  /  /  /  ボタンを押ししたときに登録した機能が呼び出せるようになります。

- [F5] タブの [設定解除] で [カスタム機能 (C.Fn)一括解除] を選ぶと、[カスタム機能 (C.Fn)] で設定した機能を解除できます。
- [ISO 感度拡張] を [1: する] にしていても、[高輝度側・階調優先] を [D+] [D+2] に設定しているときは、ISO 感度で [H] は選べません。
- 録モードのときは、[操作ボタンカスタマイズ] で   は設定できません。
- [操作ボタン カスタマイズ] の設定を初期状態に戻すときは、[F5] タブの [カスタム機能 (C.Fn)] を選び、[操作ボタン カスタマイズ] を選んだあと  ボタンを押すと表示される画面で **INFO** ボタンを押します。

## 動画を撮る

### 動画用のモードで動画を撮る

- 録モードにすると、画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 録モードにすると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が再調整されます（電子音は鳴りません）。
- 撮影前や撮影中に画面上の  をタッチするか  ボタンを押すと、撮影中にピント位置を自動調整するか固定するかを切り換えられます（自動調整のときは  の左上の○が緑色になります）。ただし、 タブの [動画サーボ AF] が [しない] のときは表示されません。

### タイムラプス動画を撮る (タイムラプス動画)

- 項目を設定すると、 撮影所要時間と  動画再生時間が表示されます。
- 撮影中はカメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。
- 動きの速い被写体を撮影すると、被写体がゆがんで写ることがあります。
- 撮影中、音声は録音されません。

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）

- [5x] [10x] [20x] を選んで動画を撮影すると、再生時には風景のこの人やものが早送りで動きます。そのため、ミニチュア模型のように見えます。
- 音声は録音されません。
- 動画を 1 分間撮影したときの倍速と再生時間の目安は次の通りです。

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

## 録音レベル（録音音量）を設定する

- 録音レベルを元に戻すときは、[録音] 画面で [オート] を選びます。

## 便利な機能

### セルフタイマーを使う

- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- ワイヤレスコントローラー BR-E1（別売）を使うときは、[📶 1] タブの [無線通信の設定] にある [Bluetooth 機能] で [リモコン] を選びます。カメラとリモコンをペアリングしているときは、[📶] が [📶] に変わり、リモコン撮影できます。なお、ペアリングの方法については、ワイヤレスコントローラー BR-E1（別売）の使用説明書も参照してください。
- [📷] モードでリモコン撮影するときは、[📷 1] タブの [リモコン撮影] を [する] にします。
- [📷 1] タブの [ドライブモード] で設定することもできます。

### セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

- セルフタイマーを設定しても、動画ボタンを押して動画を撮影したときは、セルフタイマーは動作しません。
- ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなります。また、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

### 画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

- タッチシャッターの設定は [📷 5] タブの [タッチシャッター] で設定できます。
- ピントが合わないときは、AF フレームがオレンジ色で表示されます。撮影はできません。

### 連続して撮る

- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置で固定されます。
- 撮影シーン、カメラの設定によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影条件、カードの種類、連続撮影した枚数によっては、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 連続撮影中の画面表示は撮影された画像と異なり、ピントが合っていないように見えることがあります。また、レンズによっては連続撮影中の画面表示が暗く見えることがありますが、撮影した画像は標準的な明るさで記録されます。
- 撮影シーン、カメラの設定によっては連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 記録画質を変える

- [S] [L] は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、[S]の方が高画質です。[L]では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。なお、[S2]は[S]の画質です。
- Pモードでは記録画質を設定できません。
- [CAMERA 1] タブの [記録画質] で設定することもできます。

## RAW 画像を記録する

- このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。
- [RAW] は画質を優先した RAW 画像です。[CRAW] はコンパクトな RAW 画像です。
- RAW 画像はそのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできません。このカメラで現像するかソフトウェア Digital Photo Professional を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換(現像)する必要があります。
- RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア EOS Utility をお使いください。
- 記録画素数や撮影できる枚数については、「記録関係」(P88)を参照してください。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR3」です。同時に記録した JPEG 画像と RAW 画像は、同じ画像番号のファイルになります。
- ソフトウェア Digital Photo Professional と EOS Utility については、「ソフトウェアについて」(P42)を参照してください。なお、ソフトウェアの使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「インストールする」(P42)を参照してください。
- [CAMERA 1] タブの [記録画質] で設定することもできます。JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、[RAW] で [RAW] または [CRAW] を選びます。
- [記録画質] 画面で、[RAW] で [-] を選ぶと JPEG 画像だけを、[JPEG] で [-] を選ぶと RAW 画像だけを記録する設定になります。

## 縦横比 (アスペクト比) を変える

- Pモードでは縦横比を設定できません。
- [CAMERA 1] タブの [静止画アスペクト比] で設定することもできます。

## 動画の画質を変える

- [4k 25.00P] [4k 23.98P] は、Pモードのときのみ設定できます。
- [4k 25.00P] [4k 23.98P] は、被写体にピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- [4k 25.00P] [4k 23.98P] は、ほかの画質よりも被写体が大きくなります。また、一部の機能が使えないことがあります。
- [CAMERA 1] タブの [動画記録画質] で設定することもできます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 見る

## 静止画／動画を見る

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。
- 動画の再生中、 ボタンを押すたびに一時停止／再開ができます。
- 再生表示の状態で「シャッターボタンを半押しする」、「 ボタンを押す」、「動画ボタンを押す」、「モードダイヤルを回す」のいずれかの操作で撮影モードになります。
- RAW 画像を表示したとき、縦横比の目安となる線が表示されます。縦横比【16:9】で撮影した画像には画面の上下に、縦横比【4:3】【1:1】で撮影した画像には画面の左右に表示されます。
- [ 4] タブの「前回の画像から再生」を【しない】にすると、電源を入れて再生を開始したときに最新の撮影画像を表示します。

## 高輝度（ハイライト）警告

- 再生表示の状態では **INFO** ボタンを押して詳細情報表示画面にすると、情報表示画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

## 輝度ヒストグラム

- 再生表示の状態では **INFO** ボタンを押して詳細情報表示画面にしたときに画面上部に表示されるグラフは、画像中の明るさの分布を示した輝度ヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示しています。このヒストグラムで、露出の傾向を確認できます。

## RGB ヒストグラム

- 再生表示の状態では **INFO** ボタンを押して詳細情報表示画面にすると、画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示しています。このヒストグラムで、色の傾向を確認できます。

## 再生に関する注意やヒント

撮影した静止画や動画を、カメラで再生するときの注意などを記載しています。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## タッチ操作で見る

- 動画の再生中に画面をタッチして動画再生パネルを表示することもできます。
- 一覧表示中に画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。
- 拡大表示中に画面をドラッグすると、表示位置が移動します。

## スライドショーで見る

- 再生すると、[画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- MENUボタンを押すと、スライドショーが終わります。
- スライドショー中に節電機能は働きません。
- 再生中にⓂボタンを押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に画面をタッチしてスライドショーを一時停止することもできます。
- 再生中に◀か▶ボタンを押すと画像を切り換えられます。◀か▶ボタンを押したままにすると早送りできます。
- スライドショーを開始する画面で [設定] を選ぶと、スライドショーの繰り返しや再生画像1枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果(再生効果)を変えられます。

## 短編動画(ダイジェスト動画)を見る

- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。
- 情報表示なしにしているときは、一定時間で [SET] が消えます。

## 日付ごとに選んで見る

- ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。

## 画像を探す

### 一覧表示(インデックス表示)で画像を探す

-  ボタンを押すと一覧表示になります。 ボタンを押すごとに表示される画像の数が増えます。
-  ボタンを押すごとに表示される画像の数が減ります。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
-  ボタンを押すと選ばれている画像が1枚表示になります。

### 指定した条件で画像を探す

- カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像をまとめて保護(プロテクト)したり、消すこともできます。

★ レーティング	レーティング設定した画像を表示
☑ 日付	指定した撮影日の画像を表示
📁 フォルダ	指定したフォルダ内の画像を表示
🔑 プロテクト	カード内のプロテクト「あり」か「なし」の画像を表示
📁 ファイルの種類	 静止画、  (RAW)、  (RAW,RAW+JPEG)、  (RAW+JPEG)、  (RAW+JPEG, JPEG)、  (JPEG)、  動画、  ダイジェスト を表示

- 検索をすべて解除するときは、設定画面で ボタンを押します。
- 検索した画像の表示中は黄色の枠が表示され、 ボタンを押すと検索した画像だけをまとめて操作(プロテクト、画像回転、レーティングなど)することもできます。
- 画像を編集して新規保存などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。
- [ 3] タブの [画像検索の条件設定] でも同じように操作できます。



## 電子ダイヤルで画像を探す

- 1枚表示のときにダイヤルを回すと、指定した方法で前後に画像を飛ばして表示することができます。
-   を選んだあとにダイヤルを回すと、選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像を飛ばします。
-  は、対象となる画像がないときは画像を送ることはできません。

## 保護する（プロテクト）

- カードを初期化すると、保護された画像も消えます。
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。
-  1 タブの「画像プロテクト」でも保護することができます。

## 1枚ずつ保護する（プロテクト）

-  1 タブの「画像プロテクト」で、「画像を選択」で ボタンを押すと画面に が表示されます。画面に が表示された状態で、もう一度 ボタンを押すと が消え、保護が解除されます。

## まとめて保護する（プロテクト）

- 「画像プロテクト」を選んだあと、「範囲指定」[フォルダ内・全画像]、[カード内・全画像]を選んでも設定できます。

## お気に入り設定をする（レーティング）

- [OFF]      の6段階で画像を分類できます。特定のレベルの画像だけを検索して、次の操作をすることができます。
  - 「見る」、「スライドショーで見る」、「保護する（プロテクト）」、「消す」、「印刷指定（DPOF）」、「フォトブック指定」
- レーティングを解除するときは、 ボタンを押して、設定項目の から [OFF] を選び、 ボタンを押します。
-  3 タブの「レーティング」でも設定することができます。

## 消す

- 不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻すことはできませんので、十分に確認してから消してください。
- 保護された画像は消えません。
- RAWとJPEGを同時記録した画像を表示して ボタンを押すと、「[RAWのみ消去]」[JPEGのみ消去] **[RAW+JPEG消去]** が表示されます。項目を選んで画像を消すことができます。
-  1 タブの「画像消去」でも画像を消すことができます。

## 1枚ずつ指定してまとめて消す

- 画面に が表示された状態で、もう一度 ボタンを押すと が消え、選択が解除されます。
- RAWとJPEGを同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

## 静止画を編集する

- 静止画の編集機能は、カードに空き容量がないと使えません。

## 画像を回転する

-  1 タブの「画像回転」でも画像を回転することができます。

## 自動回転機能を切る

- 縦位置画像回転表示で設定できる項目は次のとおりです。

する  	カメラとパソコンで見るときに自動回転する
する 	パソコンで見るときだけ自動回転する
しない	自動回転しない



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 画像を小さくする（リサイズ）

- 記録画素数が [S2] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。
- 撮影した画像の記録画素数より大きくはできません。
- [▶ 2] タブの [リサイズ] でも設定することができます。

## 画像を切り抜く（トリミング）

- RAW 画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像に、クリエイティブフィルター処理やリサイズ処理を行うことはできません。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- トリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
- [▶ 2] タブの [トリミング] を選んだあと、画像を選んでⓄボタンを押すことでも、トリミング枠の大きさ、位置、傾き、縦横比を設定できます。
- トリミング枠をドラッグして移動することもできます。

## 画像にフィルター効果をつける

- [📷] では、フィルター効果の種類を選ぶことができます。
- [📷] では、タッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

## 赤目を補正する

- 赤目部分が補正されると、補正した部分に枠が表示されます。
- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。

## 好みの効果を付ける（クリエイティブアシスト）

- カメラが自動で画像を分析して、おすすめのプリセットとして [AUTO1] [AUTO2] [AUTO3] が表示されます。
- [明るさ] [コントラスト] [鮮やかさ] [色あい 1] [色あい 2] [モノクロ] など、自分好みの効果を設定することもできます。

## RAW 画像をカメラで現像する

- カメラで現像した画像と、Digital Photo Professional で現像した画像は完全に同じにはなりません。
- 現像方法を設定する画面で、項目が選ばれた状態で☀️ダイヤルを回すことでも、それぞれの効果を選ぶことができます。
- 現像方法を設定する画面で、✖️ボタンを押すと拡大表示になります。
- [▶ 2] タブの [クイック設定からの RAW 現像] で [RAW 現像] を選ぶと、クイック設定画面から RAW 現像を設定することができます。

## 1 枚ずつ指定して現像する

- [▶ 2] タブの [RAW 現像] から [画像を選択] を選んでⓄボタンを押したあと、◀️か▶️ボタンを押して画像を選びます。Ⓞボタンを押すと [✓] が表示されます。別の画像も指定するときは、操作を繰り返します。その後、現像する操作を行ってください。
- 選択を解除するには、もう一度Ⓞボタンを押します。[✓] が消えます。

## 範囲で指定して現像する

- [▶ 2] タブの [RAW 現像] から [範囲指定] を選んでⓄボタンを押したあと、画像の範囲を指定します。その後、現像する操作を行ってください。



## 動画を編集する

### 動画の前後を削除する

- 編集を中止するときには、**MENU**ボタンを押したあと、**[OK]** を選び、**Ⓜ**ボタンを押します。
- 編集した動画を保存する画面で **[上書き保存]** を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、**[上書き保存]** しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときには、フル充電されたバッテリーか、コンパクトパワーアダプター（別売）と DC カプラー（別売）をあわせて使うことをおすすめします。

### 4K 動画のフレームを静止画として切り出す

- 動画の編集画面で **[📷]** を選ぶと、任意のフレームを静止画として保存することができます。

### ファイルサイズを小さくする

- 圧縮後の画質は次のとおりです。

圧縮前	圧縮後
4K 59.94P、4K 29.97P	4K 29.97P
4K 25.00P、4K 50.00P、4K 25.00P	4K 25.00P
4K 23.98P、4K 23.98P	4K 23.98P
4K 59.94P	4K 29.97P
4K 50.00P	4K 25.00P

- 編集した動画を保存するとき **[上書き保存]** を選ぶと、圧縮できません。

## ダイジェスト動画を編集する

- **[このチャプターを消去しますか?]** の画面で **[OK]** を選んで **Ⓜ** ボタンを押すと、チャプターが消去され、上書き保存されます。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## カメラの基本機能を変える

- [📷] タブや [📷] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

## 撮影直後の画像表示時間を変える

- 設定できる項目は次のとおりです。

2 秒、4 秒、8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

## フォルダを作る／選ぶ

- フォルダ名は、「100CANON」のように先頭 3 桁の数字（フォルダ番号）と、5 文字の英数字で構成されています。
- フォルダは 100 ～ 999 まで作成することができます。

## 画像番号のつけかたを変える

- 撮影した画像には、撮影した順に 0001 ～ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに最大 9999 枚まで保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。設定できる項目は次のとおりです。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。
強制リセット	オートリセットの動作を強制的に行います。

- [通し番号] [オートリセット] とともに、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化したカードをお使いください。

## 設定に関する注意やヒント

カメラの基本機能の設定に関する注意などを記載しています。カメラの基本機能を変更することで、カメラをより使いやすくなります。

## カードを初期化する

- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。
- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

## カードを物理フォーマット（初期化）する

- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、カードの初期化よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に[キャンセル]を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

## エコモードを使う

- カメラを操作しないと約2秒後に画面が暗くなります。その約10秒後に画面が消えます。約3分後には電源が切れます。
- 画面が消えている状態のときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

## 節電機能の設定を変える

- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、[🔋 2] タブの[節電]で[オートパワーオフ]を[1分]にし、[ディスプレイオフ]を[1分]以下にすることをおすすめします。
- エコモードを[入]にしているときは、[ディスプレイオフ]と[オートパワーオフ]は使えません。

## 撮影時の情報の表示内容を設定する

- [🔍 4] タブの[撮影情報表示設定]にある[モニター情報表示カスタマイズ]画面で**INFO**ボタンを押すと、画面に表示される内容を詳細に設定することができます。
- [🔍 4] タブの[撮影情報表示設定]にある[グリッド]で、より細かいグリッドに変えることができます。
- [🔍 4] タブの[撮影情報表示設定]にある[ヒストグラム]で、表示するヒストグラムを、輝度ヒストグラムからRGBヒストグラムに変えたり表示サイズを変えることができます。
- [🔍 4] タブの[ファインダー表示形式]でファインダーの表示方法を変えることができます。

## 再生時の情報の表示内容を設定する

- 画面表示を設定する画面では、左側で表示イメージを確認できます。
- クリエイティブアシストの設定内容を表示するときは、[▶ 4] タブの[再生情報表示設定]で[2]に[✓]をつけてください。**INFO**ボタンを押したときに、表示されるようになります。

## タッチパネルの設定を変える

- タッチ操作が感知されにくいときは、タッチパネルの感度を上げてください。
- タッチパネルを操作するときは次のことにご注意ください。
  - 感圧式ではありません。爪やボールペンなど、先のとがったもので操作しないでください。
  - 濡れた指で操作しないでください。
  - 画面に水滴がついていたり、濡れた指で操作すると、反応しなくなったり、誤動作することがあります。カメラの電源をいったん切ってから、布などでふき取ってください。
  - 画面に、市販の保護シートやシールを貼らないでください。タッチの反応が悪くなることがあります。
- [敏感]に設定して素早いタッチ操作を行うと、反応しづらいことがあります。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## 撮像素子をクリーニングする

### クリーニング機能を動作させる

- センサーのクリーニングは、レンズを付けていなくても行えます。レンズを付けずに行うときは、シャッター幕を破損しないように、レンズマウント面より中に指やブローアーを入れないでください。
- 机の上などにカメラを置き、底面が机に付いた状態で行うと、効果的にゴミを除去できます。
- 繰り返してクリーニングしても効果は大きく変わりません。なお、清掃終了直後は、[今すぐクリーニング]が選べないことがあります。
- 撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやほこりがあるときは、修理受付窓口にご相談ください。

### 手作業で清掃する

- 撮像素子の表面は非常にデリケートです。細心の注意を払って清掃してください。
- ブラシの付いていないブローアーを使ってください。ブラシが撮像素子に触れると、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアーは、レンズマウント面より内側に入れないでください。シャッター幕を破損する原因となります。
- 高圧の空気やガスを吹き付けて清掃しないでください。圧力により撮像素子が破損したり、吹き付けたガスが凍結することで、撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブローアーで除去できない汚れがあったときは、修理受付窓口で撮像素子の清掃をお申し付けください。

## 画像に記録する著作権の情報を登録する

- 著作権情報を登録すると、撮影する画像に、登録した情報が記録されるようになります。
- 入力した内容は、[F5] タブの [著作権情報] で [著作権情報の表示] を選び、[OK] ボタンを押すと確認できます。
- 専用ソフトウェア EOS Utility でも、カメラに登録する著作権情報を入力したり、変えたり、消すことができます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。
- 画像に記録された著作権情報は、画像をパソコンに取り込んでからソフトウェアで確認することができます。
- ソフトウェア EOS Utility の使用説明書は弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードの方法については「インストールする」(P42) を参照してください。

### 登録した著作権情報をまとめて消す

- 登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができますが、画像に記録されている著作権情報は消されません。

## カメラの設定を初期状態に戻す

### 基本設定を初期化する

- [言語] や [日付 / 時刻 / エリア] などの基本的な設定は初期状態に戻りません。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 電源

バッテリーが充電できない

- 純正のバッテリーパック LP-E12 を使用してください。

バッテリーチャージャーのランプが点滅する

- (1) バッテリーまたはバッテリーチャージャーに異常が発生したときや、(2) バッテリーと通信できないとき（純正以外のバッテリー使用時）は、充電が中止されてオレンジ色の充電ランプが点滅します。(1)のときは、バッテリーチャージャーのプラグをコンセントから抜き、バッテリーの取り外し/取り付けを行ってから、2～3分後にもう一度コンセントに差し込んでください。改善しないときは、修理受付窓口にご相談ください。

## 撮影

暗い場所での画面表示がおかしい

- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります。ただし、撮影される画像の明るさは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されるので、注意してください。
  - 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。
- レンズの最短撮影距離より近づくとピントが合いません。最短撮影距離は、使用しているレンズで確認してください。なお、最短撮影距離は、カメラの上面の （撮像面マーク）から被写体までの距離です。

連続撮影が途中で止まる

- カメラを保護するため、1回の連続撮影が1000枚程度になると撮影が止まります。一度シャッターボタンから指を放してから撮影しなおしてください。

動画の撮影や再生が途中で止まる

-   は、UHS スピードクラス 3 対応のカードをお使いください。

## 故障かな?と思ったら

「カメラが故障したのかな?」と考える前に、次の例を参考にカメラを確認してください。ただし、問題が解決しないときは、修理受付窓口へご相談ください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 画像に線状のノイズまたはモアレが写る

- 被写体により、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。特に次の条件で発生しやすくなります。
  - 細かい水平方向の縞模様や、格子模様の被写体など
  - 太陽光や照明などの強い光源が撮影画面内にあるときや、撮影画面の近くにあるとき
- なお、このようなときは、次の対応によりノイズやモアレの発生を低減できることがあります。
  - 撮影距離やズーム倍率を変えて、被写体の大きさを変える
  - 強い光源が撮影画面に入らないように構図を変える
  - レンズにフードを付けて、強い光がレンズに当たらないようにする
- TS-E レンズを使用してシフトやティルトを行ったときは、画像に線状のノイズまたはモアレが記録されることがあります。

## 動画撮影

### 被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。

## 表示

### [##] が表示される

- カードに記録されている画像数が、カメラで表示できる桁数を超えると [##] と表示されます。

## Wi-Fi

### (P) ボタンを押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- カメラをパソコンやプリンターとケーブルでつないでいるときは、Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

### 画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

### アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (90) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

### スマートフォンと Bluetooth 接続ができない

- [Bluetooth 機能] を [リモコン] に設定してワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 を使用しているときは、スマートフォンと Bluetooth 接続することはできません。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## エラー表示

- カメラに異常が発生すると、エラー番号 (Errxx) と原因・対処方法が表示されます。

番号	メッセージ/対処方法
01	カメラとレンズの通信不良です。レンズの接点を清掃してください
	→ カメラ/レンズの接点清掃、純正レンズを使用、バッテリーの出し入れ
02	カードにアクセスできません。カードを入れなおすか、交換するか、このカメラで初期化してください
	→ カード抜き差し、カード交換、カード初期化
04	カードがいっぱいになったため、記録できませんでした。カードを交換してください
	→ カード交換、不要画像の消去、カード初期化
10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 99	エラーが発生したため撮影できません。電源を入れなおすか、バッテリーを入れなおしてください
	→ 電源スイッチ操作、バッテリーの出し入れ、純正レンズを使用

\*問題が解決しないときは、エラー番号 (Errxx) を控えて、修理受付窓口へご相談ください。

## メッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## Wi-Fi

ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が存在します

- ほかの機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

サーバーの空き容量が不足しています

- Web サーバー内の不要な画像を消去し、Web サーバーの空き容量を確認してから再度送信してください。

ネットワークの設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

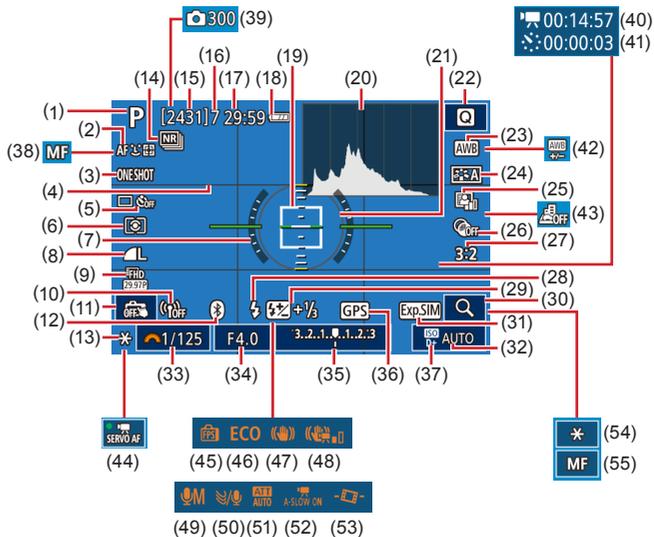


# 第3部 お役立ち情報

カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。

## 画面の表示内容一覧

### 撮影時



- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| (1) 撮影モード、シーンアイコン     | (9) 動画の画質（記録画素数・フレームレート） |
| (2) AF方式              | (10) Wi-Fi通信状態           |
| (3) AF動作              | (11) タッチシャッター            |
| (4) グリッドライン           | (12) Bluetooth通信状態       |
| (5) ドライブモード/セルフタイマー   | (13) AEロック               |
| (6) 測光モード             | (14) 高感度撮影時のノイズ低減        |
| (7) 水準器               | (15) 撮影可能枚数              |
| (8) 静止画の画質（圧縮率・記録画素数） | (16) 連続撮影可能枚数            |

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

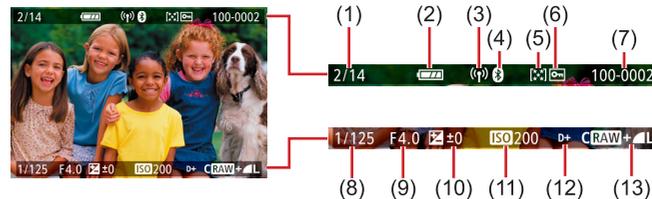
お役立ち情報

索引



## 再生時

## 情報表示 1



- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| (1) 再生画像／対象画像数     | (8) シャッタースピード  |
| (2) バッテリー残量        | (9) 絞り数値       |
| (3) Wi-Fi 通信状態     | (10) 露出補正量     |
| (4) Bluetooth 通信状態 | (11) ISO 感度    |
| (5) レーティング         | (12) 高輝度側・階調優先 |
| (6) 保護             | (13) 記録画質*     |
| (7) フォルダ番号・画像番号    |                |

\*クリエイティブフィルター、リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に [Z] と表示されます。また、トリミングした画像では [T] と表示されます。

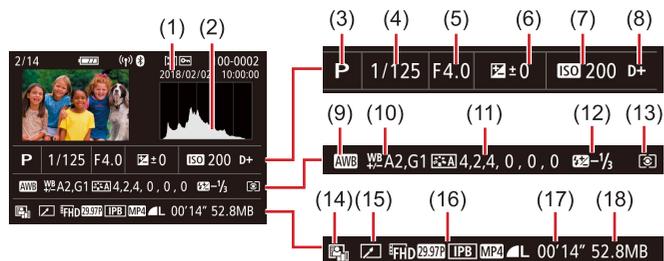
- |  |                  |
|--|------------------|
| (17) 撮影可能時間                            | (37) 高輝度側・階調優先   |
| (18) バッテリー残量表示                         | (38) マニュアルフォーカス  |
| (19) AF フレーム                           | (39) 撮影回数        |
| (20) ヒストグラム                            | (40) 撮影所要時間      |
| (21) 測光枠                               | (41) 撮影間隔        |
| (22) クイック設定画面                          | (42) ホワイトバランス補正  |
| (23) ホワイトバランス                          | (43) ジオラマ風動画     |
| (24) ピクチャースタイル                         | (44) 動画サーボ AF    |
| (25) オートライティングオフティマイザ                  | (45) 撮影画面表示設定    |
| (26) クリエイティブフィルター                      | (46) エコモード       |
| (27) 静止画アスペクト比                         | (47) 手ブレ補正       |
| (28) ストロボモード                           | (48) 動画電子 IS     |
| (29) ストロボ調光補正／発光量                      | (49) 録音モード       |
| (30) 拡大                                | (50) ウィンドカット     |
| (31) 露出 Simulation                     | (51) アッテネーター     |
| (32) ISO 感度                            | (52) オートスローシャッター |
| (33) シャッタースピード                         | (53) 自動水平補正      |
| (34) 絞り数値                              | (54) 動画 AE ロック   |
| (35) 露出補正                              | (55) AF/MF 切り換え  |
| (36) Bluetooth スマートフォン連携<br>GPS 情報取得状態 |                  |

## バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
	残量が少なくなってきました。充電してください。
	残量がありません。すぐに充電してください。

## 情報表示 2



- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| (1) 撮影日時      | (10) ホワイトバランス補正量      |
| (2) ヒストグラム    | (11) ピクチャースタイル設定内容    |
| (3) 撮影モード     | (12) 調光補正量            |
| (4) シャッタースピード | (13) 測光モード            |
| (5) 絞り数値      | (14) オートライティングオフティマイザ |
| (6) 露出補正量     | (15) 編集済み *1          |
| (7) ISO 感度    | (16) 記録画質 *2          |
| (8) 高輝度側・階調優先 | (17) 動画記録時間           |
| (9) ホワイトバランス  | (18) 画像サイズ            |

\* 1 クリエイティブフィルター、リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に表示されます。

\* 2 トリミングした画像では [ ] と表示されます。

## 情報表示 3

レンズ名、焦点距離、RGB ヒストグラムが表示されます。なお、長いレンズ名の一部が表示されないことがあります。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

## 情報表示 4

ホワイトバランスの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

## 情報表示 5

ピクチャースタイルの情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

## 情報表示 6

長秒時露光と高感度撮影時のノイズ低減の設定が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

## 情報表示 7

レンズ光学補正データ、周辺光量補正、色収差補正、回折補正が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

## 情報表示 8

画像の送信先情報と送信状態が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。

## 情報表示 9

GPS 情報が表示されます。画面上部の表示は情報表示 2 と同じです。



## 主な仕様

### 型式

カテゴリー ..... デジタル一眼ノンレフレックス  
AF・AE カメラ

### 撮像素子

イメージサイズ  
撮像画面サイズ  
(記録画素サイズのこと) ..... 約 22.3 × 14.9mm

#### 画素数

カメラ部有効画素数 (画像処理  
により画素が減少することがある) ..... 約 2410 万画素  
総画素数 ..... 約 2580 万画素

アスペクト比 ..... 3 : 2

ダスト除去機能 (自動/手動) ..... あり

### フォーカス制御

AF 方式 ..... 顔 + 追尾優先 AF、ゾーン AF、  
1 点 AF

#### 顔 + 追尾優先 AF

測距点 (最大)

(レンズによって自動切り換え) ..... 143/99 点

#### ゾーン AF

測距枠 (最大) ..... 25 点

測距輝度範囲 (常温 23℃・ISO 100、  
EF-M22mm F2 STM 使用時)

EV 値 ..... -2 ~ 18

### フォーカス動作

#### 静止画

TTL オートフォーカス ..... ワンショット AF、サーボ AF  
コンティニューアス AF ..... 可能  
MF (マニュアルフォーカス) ..... MF ピーキング、レンズの電子式  
手動フォーカス (ワンショット  
AF 動作後に手動でピント合わせ)

#### 動画

MF (マニュアルフォーカス) ..... MF ピーキング、レンズの電子式  
手動フォーカス (ワンショット  
AF 動作後に手動でピント合わせ)

#### 動画サーボ AF (ハイフレーム

レート動画は AF 固定) ..... 可能

ライブビュー拡大表示 ..... 約 5 倍 / 約 10 倍

タッチ & ドラッグ AF ..... 可能

瞳 AF (ワンショット AF 固定) ..... 可能

AF 補助光 ..... 内蔵 LED ランプ

### 露出制御

#### 測光方式

静止画 ..... 撮像素子によるリアルタイム測光  
(評価測光、部分測光、スポット測  
光、中央部重点平均測光)

動画 ..... 撮像素子によるリアルタイム測光  
(中央部重点平均測光)

#### 測光輝度範囲 (常温 23℃・ISO 100)

静止画 EV 値 ..... 0 ~ 20

動画 EV 値 ..... 0 ~ 20

#### 露出制御方式

静止画 ..... プログラム AE、シャッター優先  
AE、絞り優先 AE、マニュアル  
露出

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 露出制御

## 静止画

露出補正 .....	1/3 段ステップ/± 3 段
プログラムシフト .....	可能
AE ロック .....	手動/自動
AE ブラケット .....	1/3 段ステップ/± 2 段 (手動補正との併用可能)

## 動画

露出補正 .....	1/3 段ステップ/± 3 段
AE ロック .....	手動

## ISO 感度 (推奨露光指数)

## 静止画

## ISO オート設定範囲

最低感度 (撮影モード: AUTO 時) .....	ISO 100
最高感度 (撮影モード: AUTO 時) .....	ISO 6400
ISO オート時の上限設定 .....	P モード、Tv モード、Av モード、 M モード、動画マニュアル露出選 択時

## 設定できる感度 (撮影モード: P 時)

最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 25600
拡張時 .....	ISO 51200
設定可能段数 .....	1/3 段ステップ

## 動画

## 4K (3840 x 2160)

自動設定	
最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 6400
手動設定	
最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 6400
拡張時 .....	ISO 6400

## フル HD (1920 x 1080)

自動設定	
最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 12800
手動設定	
最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 12800
拡張時 .....	ISO 25600

## HD (1280 x 720)

自動設定	
最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 12800
手動設定	
最低感度 .....	ISO 100
最高感度 .....	ISO 12800
拡張時 .....	ISO 25600

## ホワイトバランス

WB 設定 .....	オート (雰囲気優先、ホワイト優 先)、太陽光、日陰、くもり、白熱 電球、白色蛍光灯、ストロボ、マニ ユアル、色温度
ホワイトバランス補正 .....	可能

## シャッター

方式	電子制御式フォーカルプレーンシャッター（フォーカルプレーンシャッター、タッチシャッター）
サイレントシャッター	可能
シャッタースピード	
BULB（撮影モード：Mのみ）	可能
全撮影モードをあわせた範囲	
最長 Tv	30 秒
最短 Tv	1/4000 秒
ストロボ同調最高シャッター	
スピード	1/200 秒

## ストロボ

内蔵ストロボ	
方式	手動ポップアップストロボ
ストロボ仕様	
ガイドナンバー（ISO 100・m）	.....Gno. 約 5
ストロボ制御	.....E-TTL II 調光方式、赤目緩和機能

## ファインダー・モニター

カラー電子ビューファインダー	
画面サイズ	.....0.39 型
ドット数	.....約 236 万ドット
モニター	
形式	.....TFT カラー液晶
画面サイズ	.....3.0 型
ドット数	.....約 104 万ドット
被写界深度確認	.....可能

## 撮影関係

画像処理	
ノイズ低減	
長秒時露光時	.....1 秒以上、およびバルブ露光時に作動
高感度撮影時	.....すべての ISO 感度で作動
画像補正	
オートライティング	
オプティマイザ	.....可能
高輝度側・階調優先	.....可能
レンズ補正（EF-M レンズは レンズ内に補正データをもつ）	.....周辺光量補正、歪曲収差補正、デジタルレンズオプティマイザ、色収差補正、回折補正
ピクチャースタイル	.....オート、スタンダード、ポートレート、風景、ディテール重視、ニュートラル、忠実設定、モノクロ、ユーザー設定 1、ユーザー設定 2、ユーザー設定 3

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 連続撮影

ドライブ.....1枚撮影、高速連続撮影、低速連続撮影

## 撮影速度

ワンショットAF時

高速連続撮影速度.....最高：約10.0コマ/秒

低速連続撮影速度.....最高：約4.0コマ/秒

サーボAF時

高速連続撮影速度.....最高：約7.4コマ/秒

低速連続撮影速度.....最高：約4.0コマ/秒

## 連続撮影可能枚数

	約33枚
	約30枚
	約29枚
	約30枚
	約10枚

## 記録関係

ファイルフォーマット.....DCF準拠、  
DPOF対応 (Version 1.1)

## データタイプ

静止画

記録形式.....Exif 2.31 (DCF 2.0)

画像 (連続撮影時のRAW画像は  
12bitAD変換が施されています).....JPEG / RAW (CR3 キヤノン独  
自：14bit)

動画

記録形式.....MP4

映像.....MPEG-4 AVC / H.264  
可変 (平均) ビットレート方式

音声.....MPEG-4 AAC-LC (stereo)

内蔵マイク.....ステレオ

録音レベル調整.....可能

ウィンドカット機能

(内蔵マイク使用時).....あり

アッテネーター機能.....あり

## 撮影可能枚数

静止画 (ISO100 にて測定)

32GB (UHS-I) のカード使用時

記録画質	撮影可能枚数 (約)
<b>L</b>	3651 枚
<b>L</b>	6782 枚
<b>M</b>	6645 枚
<b>M</b>	11741 枚
<b>S1</b>	9948 枚
<b>S1</b>	16455 枚
<b>S2</b>	16874 枚
<b>RAW</b>	1084 枚
<b>RAW + L</b>	835 枚

## 動画

32GB (UHS-I) のカード使用時

画質	記録ファイルサイズ (約)	カードに記録できる撮影可能時間 (約)
<b>4k 25.00P</b> 、 <b>4k 23.98P</b>	15000 KB/ 秒	35 分 33 秒
<b>FHD 59.94P</b> 、 <b>FHD 50.00P</b>	7500 KB/ 秒	1 時間 11 分 7 秒
<b>FHD 29.97P</b> 、 <b>FHD 25.00P</b> 、 <b>FHD 23.98P</b>	3750 KB/ 秒	2 時間 22 分 13 秒
<b>FHD 119.9P</b> 、 <b>FHD 100.0P</b>	6500 KB/ 秒	1 時間 22 分 3 秒
<b>FHD 59.94P</b> 、 <b>FHD 50.00P</b>	3250 KB/ 秒	2 時間 44 分 6 秒

- メモリーカードの容量いっぱい、または 1 回の撮影時間 (約 29 分 59 秒) のいずれかになるまで連続撮影可能 (**FHD 119.9P** **FHD 100.0P**) の 1 回の撮影時間は約 7 分 29 秒)

記録媒体	SD、SDHC、SDXC メモリーカード
フォルダ作成	即時作成、フォルダ選択
画像番号	通し番号 / オートリセット、強制リセット

## 再生関係

## 拡大ズーム表示

拡大ズーム倍率	Min : 約 1.5 倍 Max : 約 10.0 倍
---------	---------------------------------

動画再生 ..... スピーカー内蔵

## ハイライト警告 /

ハイライト部分点滅表示 ..... 可能

レーティング ..... 可能

画像プロテクト ..... 可能

RAW 現像 (カメラ内) ..... 可能

フレーム切り出し (4K 動画のみ) ..... 可能

画像送り ..... 1 枚、10 枚、指定枚数、撮影日、フォルダ、動画、静止画、プロテクト画像、画像の検索 (レーティング、日付、プロテクト、ファイルの種類)

スライドショー ..... 全画像、検索での画像絞り込み後のスライドショー

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 撮影後の画像処理

(同一機種で撮影した画像のみ可能).....クリエイティブフィルター (ラフモノクロ、ソフトフォーカス、魚眼風、油彩風、水彩風、トイカメラ風、ジオラマ風)、リサイズ、トリミング (傾き補正)、赤目補正

## カスタマイズ関係

操作ボタンカスタマイズ対象部材.....シャッターボタン、十字ボタン (上下左右)、AE ロックボタン、M-Fn ボタン、動画ボタン

著作権情報 .....可能

## 電源

バッテリーパック .....LP-E12  
 静止画撮影枚数 (CIPA 準拠: 常温 23℃)  
 モニター表示時.....約 235 枚 (「省電力優先」時は約 290 枚)  
 カラー電子ビューファインダー  
 表示時.....約 235 枚 (「省電力優先」時は約 290 枚)  
 静止画撮影枚数 (エコモード時)  
 モニター表示時.....約 370 枚 (「省電力優先」時は約 425 枚)  
 動画撮影時間 (CIPA 準拠: 常温 23℃)  
 モニター表示時.....約 85 分  
 カラー電子ビューファインダー  
 表示時.....約 85 分

## 動画撮影時間 (連続撮影時) \*

モニター表示時.....約 130 分  
 カラー電子ビューファインダー  
 表示時.....約 130 分  
 \* 以下の条件にて繰り返し撮影したときの合計時間  
 AUTO モードの初期状態、ズームなどの操作はなし、一度に撮影できる時間  
 が容量に達して自動停止/再開  
 再生時間 (静止画をスライドショーで  
 再生したときの時間) .....約 4 時間

## インターフェース

## 有線

デジタル端子 (Hi-Speed USB 準拠)...Micro USB  
 HDMI 出力端子.....Type D  
 記録時の HDMI 出力 (撮影画面・音声なし)、HDR 対応テレビへの  
 HDMI 出力 (動画非対応・JPEG は HDR 効果なし)

## 無線

NFC.....NFC Forum Type3/4 Tag 準拠  
 (ダイナミック)  
 Bluetooth  
 準拠規格 .....Bluetooth Ver. 4.1 (Bluetooth  
 low energy technology)  
 伝送方式 .....GFSK 変調方式

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## Wi-Fi

準拠規格	IEEE 802.11b (DS-SS 変調方式)、IEEE 802.11g (OFDM 変調方式)、IEEE 802.11n (OFDM 変調方式)
送信周波数	
周波数帯	2401 ~ 2473 MHz
チャンネル	1-11ch
セキュリティ	
インフラストラクチャー	
モード	WPA2-PSK (AES/TKIP)、WPA-PSK (AES/TKIP)、WEP * Wi-Fi Protected Setup 準拠
カメラアクセスポイント	
モード	WPA2-PSK (AES)

## 動作環境

温度	最低：0℃、最高：40℃
湿度	使用可能湿度：85%以下

## 大きさ (CIPA 準拠)

W	約 116.3 mm
H	約 88.1 mm
D	約 58.7 mm

## 質量 (CIPA 準拠)

カラーバリエーション：Black	
バッテリーパック・メモリーカード	
含む	約 387 g
本体のみ	約 351 g
カラーバリエーション：White	
バッテリーパック・メモリーカード	
含む	約 390 g
本体のみ	約 354 g

## バッテリーパック LP-E12

形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
容量	875 mAh
使用可能温度	充電時：+5℃ ~ +40℃ 撮影時：0℃ ~ +40℃

## バッテリーチャージャー LC-E12

充電可能電池	バッテリーパック LP-E12
充電時間	約 2 時間 (常温時)
定格入力	AC100 ~ 240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC8.4 V/540 mA
使用可能温度	+ 5℃ ~ + 40℃

- 記載データはすべて当社試験基準、または CIPA 試験基準／ガイドラインによります。
- 大きさ、最大径、長さ、質量は CIPA ガイドラインによります（カメラ本体のみの質量を除く）。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 他社製のレンズを使用して不具合が生じたときは、そのレンズメーカーへお問い合わせください。

無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



## 索引

### 数字

1点AF 60

### アルファベット

#### A

AEB撮影 56  
AEロック 57  
AFフレーム 60  
Av (撮影モード) 65

#### B

Bluetooth 7

#### C

Camera Connect 7  
CANON iMAGE GATEWAY 26

#### D

DCカプラー 36, 39  
DPOF 45

#### F

FEロック 62

#### H

HDMIケーブル 38  
HDR 絵画調標準 (撮影モード) 56  
HDR 逆光補正 (撮影モード) 55  
HDR グラフィック調 (撮影モード) 56  
HDR ピンテージ調 (撮影モード) 56  
HDR 油彩調 (撮影モード) 56

#### I

ISO感度 57  
ISO感度拡張 66

#### M

M (撮影モード) 65  
MF ピーキング 60  
MWB 58

#### P

PictBridge (ピクトブリッジ) 38, 44

#### R

RAW 69  
RAW現像 73

#### T

Tv (撮影モード) 65

#### W

Web サービスへの送信 26

### かな

#### あ

赤目補正 73  
アクセサリ 36

#### い

色あい (ホワイトバランス) 57  
色温度 58  
色空間 58  
色収差補正 63  
印刷 44  
インストール 42

インデックス表示 71

#### え

エコモード 76  
エラー表示 80

#### お

オートモード (撮影モード) 52  
オートライティングオブティマイザ 57  
お気に入り設定 72

#### か

カード 48  
回折補正 63  
階調優先 57  
回転 72  
顔 + 追尾優先 AF 60  
画質 69  
画像

再生 → 見る

消去 72  
表示時間 75

画像番号 75

画像プロテクト 72

画像を送る 26

画像をパソコンに取り込む 43

家庭用電源 39

カメラ  
設定初期化 77

画面

表示一覧 82, 83

#### き

魚眼風 (撮影モード) 56  
記録画質 69  
近接撮影 55

#### く

クイック設定画面

基本操作 50

クリーニング (撮像素子) 77  
クリエイティブアシスト (撮影モード) 54  
クリエイティブフィルター (撮影モード) 56  
グリッドライン 76  
クローズアップ (撮影モード) 55

#### け

消す 72  
検索 71

#### こ

高輝度側・階調優先 57  
故障 78  
ゴミの写り込み防止 77  
コンパクトパワーアダプター 36, 39

#### さ

サーボAF 61  
再生 → 見る  
サイレントモード (撮影モード) 55  
撮影  
撮影情報 82  
残量表示 83

#### し

ジオラマ風 (撮影モード) 56  
ジオラマ風動画 (撮影モード) 68  
自分撮り (撮影モード) 54  
ジャンプ表示 72  
充電 48  
周辺光量補正 63  
消去 → 消す

無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引



初期状態 → 設定初期化

## す

ストロボ

スローシンクロ 41

調光補正 62

発光禁止 62

スポーツ (撮影モード) 55

スマートフォンへの送信 7

スライドショー 71

スローシンクロ 41

## せ

接続設定を変更/削除 32

設定初期化 32, 77

節電 76

セルフタイマー 68

タイマー時間と撮影枚数を変  
える 68

センサークリーニング 77

## そ

ゾーン AF 60

測光方式 57

ソフトウェア

インストール 42

パソコンへの取り込み 43

ソフトフォーカス (撮影モード) 56

## た

タイムラプス動画 (撮影モード) 67

ダストデリートデータ取得 64

タッチシャッター 68

縦位置画像回転表示 72

縦横比を変える 69

端子 38, 39, 44

## ち

調光補正 62

長時間露光 66

長秒時露光のノイズ低減 64

## て

デジタルレンズオプティマイザ 63

手ブレ補正 62

手持ち夜景 (撮影モード) 55

テレビで見る 38

電源 36 → コンパクトパワーアダプ

ター、→ バッテリー、→ バッテリー  
チャージャー (充電器)

## と

トイカメラ風 (撮影モード) 56

動画

画質 (記録画素数/フレーム数)  
69

編集 74

トリミング (画像の切り抜き) 73

## な

流し撮り (撮影モード) 55

## に

日時 → 日付/時刻/エリア

## の

ノイズ低減

長秒時 64

## は

パソコンとの Wi-Fi 接続 21, 23

パソコンへの取り込み 43

発光禁止 62

バッテリー

エコモード 76

残量表示 83

充電 48

バッテリーチャージャー (充電器)  
36

バルブ撮影 66

## ひ

ピクチャースタイル 58

ピクトブリッジ (PictBridge) 38,  
44

日付/時刻/エリア

設定 48

美肌 (撮影モード) 54

表示一覧 82, 83

表示時間 75

ピント合わせ

AF フレーム 60

MF ピーキング 60

サーボ AF 61

ピント位置拡大 60

## ふ

フォーカスロック 60

フォトブック指定 46

プラスムービーオート (撮影モード)  
52

プリント → 印刷

プロテクト 72

## へ

編集

赤目補正 73

トリミング (画像の切り抜き)  
73リサイズ (画像を小さくする)  
73

## ほ

保護 72

ホワイトバランス (色あい) 57

## ま

マクロ撮影 55

マニュアルホワイトバランス 58

マルチショットノイズ低減機能 64

マルチファンクションボタン 66

## み

見る 70

インデックス表示 71

画像の検索 71

ジャンプ表示 72

スライドショー 71

テレビで見る 38

## め

メニュー

基本操作 50

## ら

ランプ 51

## り

リサイズ (画像を小さくする) 73

料理 (撮影モード) 55

## れ

レーティング 72

## ろ

露出

AE ロック 57

FE ロック 62

## わ

歪曲収差補正 63

## セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う  
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしていたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受  
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス  
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

## 第三者のソフトウェア

- AES-128 Library  
Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK.  
All rights reserved.

### LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

### DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.



無線機能

アクセサリ

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

- CMSIS Core header files  
Copyright (C) 2009-2015 ARM Limited.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- KSDK Peripheral Drivers, Flash / NVM, KSDK H/W Abstraction Layer (HAL)  
(c) Copyright 2010-2015 Freescale Semiconductor, Inc.  
ALL RIGHTS RESERVED.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* Neither the name of the <organization> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL <COPYRIGHT HOLDER> BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



無線機能

アクセサリー

注意やヒント

本体に関する注意やヒント

撮影に関する注意やヒント

再生に関する注意やヒント

設定に関する注意やヒント

故障かな?と思ったら

メッセージ一覧

お役立ち情報

索引

## カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときのご注意

カメラに個人情報登録したり Wi-Fi のパスワードなどのセキュリティ情報を設定したときは、それらの情報がカメラ内に残っている可能性があります。

カメラを貸したり修理などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、情報の漏洩を避けるため、以下の作業を行ってください。

- 設定したセキュリティ情報は、無線通信の設定にある [設定初期化] を使って消してください。

